

# 平成27年 労働災害発生システム集計報告

本集計報告は、毎月会員企業様よりご報告いただいております労働災害発生システム報告書の平成27年分を取り纏めたものです。また、労働災害防止対策に役立てることを目的に集計・分析し、収支改善対策における基礎資料の一つとしてご活用していただきたい、と考えています。引き続き労働災害撲滅の活動に努めて頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会

## 目 次

図1 厚生労働省公表労災件数（休業4日以上）・全協労災システム報告件数推移	2
図2 報告書回収・労災発生状況	2
図3 協会別＜年間＞会員数・報告書回収数・労災発生件数	3
図4 協会別＜月平均＞会員数・報告書回収数・労災発生件数	4
図5 協会別＜年間＞報告書回収率・労災発生率	5
図6 事故の型別—月別	6
図7 事故の型別—割合	6
図8 事故の型別—協会別	7
図9 年齢階級別死傷者数—月別	8
図10 年齢階級別死傷者数—割合	8
図11 年齢階級別死傷者数—協会別年間累計	9
図12 発生時間帯別発生件数—月別	10
図13 発生時間帯別発生件数—割合	10
図14 発生時間帯別発生件数—協会別年間累計	11
図15 休業日数—月別	12
図16 休業日数—割合	12
図17 休業日数—協会別年間累計	13
■重篤災害	
図18 重篤災害件数推移（H24～H27）	14
図19 平成27年重篤災害 災害区分別	14
図20 平成27年重篤災害 職種別	14
図21 平成27年重篤災害 男女別	15
図22 平成27年重篤災害 協会別	15
図23 平成27年重篤災害 型別	15
図24 平成27年重篤災害 月別	16
図25 平成27年重篤災害 曜日別	16
図26 平成27年重篤災害 時間別	16
図27 平成27年重篤災害 年齢別	17
図28 平成27年重篤災害 経験年齢別	17
表1 平成27年重篤災害報告内容	18

- ※1. 年間集計は1月～12月集計。
- ※2. 会員数は、毎月の労災システム報告書に記載された会員数。
- ※3. 北海道は準会員含む。
- ※4. 報告書回収率＝報告書回収数／会員数
- ※5. 労災発生率＝労災発生件数／報告書回収数

図1の労働災害発生件数(休業4日以上)は、厚生労働省と全協労災システムを比べると、平成27年で2,033件の差があります。この差は、次のことが考えられます。一つ目は、労災システムの回収率は62.1% (図2)であり、回収率100%の数字ではないこと、二つ目は、会員企業の労災発生報告であるため非会員企業の労災発生件数を当協会が発生することが出来ないことです。労働災害防止には会員企業の回収率を上げ毎月労働災害発生に関する意識を高めることと、会員企業、非会員企業が同じように取組む必要があります。なお、以下の図表等は、毎月ご報告いただいた件数の集計結果です。ご査収ならびにご活用方、宜しくお願い申し上げます。

図1

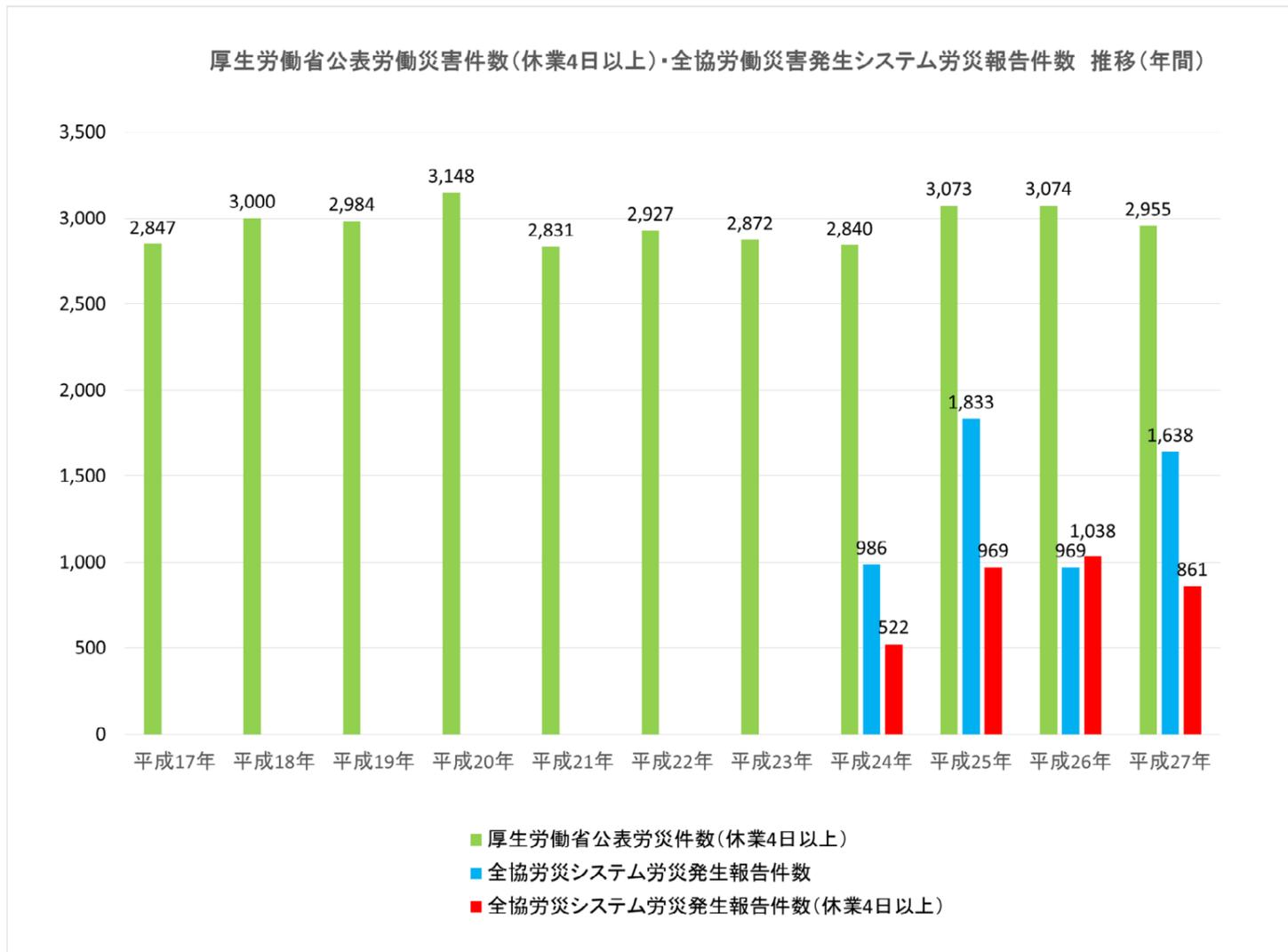


図2

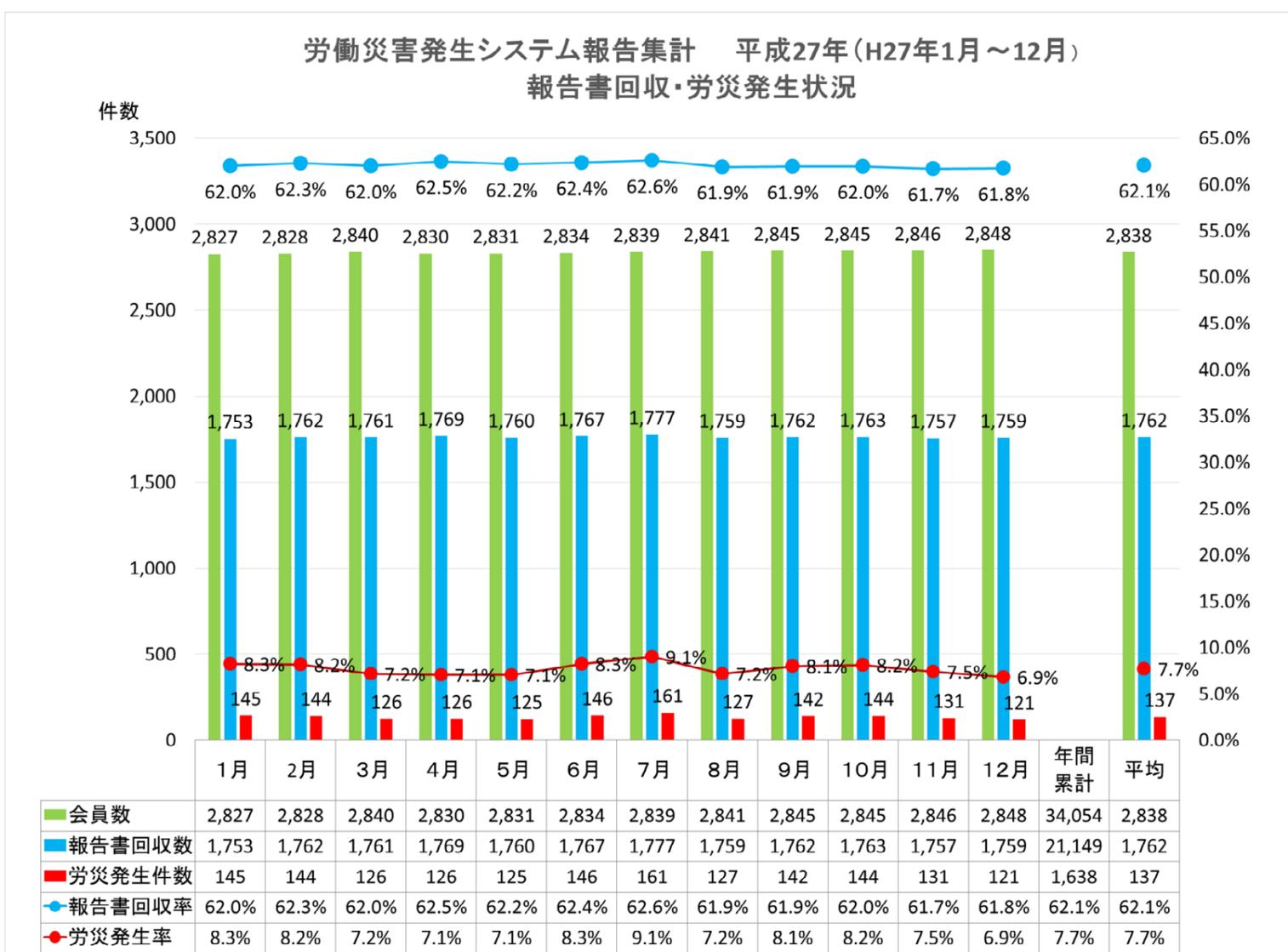


図3は、平成27年1月～12月までの報告書回収数の累計と災害発生件数の合計です。従いまして会員数は1.2倍となっています。会員数と報告書回収数が同数の場合が回収率100%となり、中国地区と九州地区の全ての県協会は会員数と報告書回収数が同数ですので回収率が100%となります。

図3 協会別<年間> 会員数・報告書回収数・労災発生件数

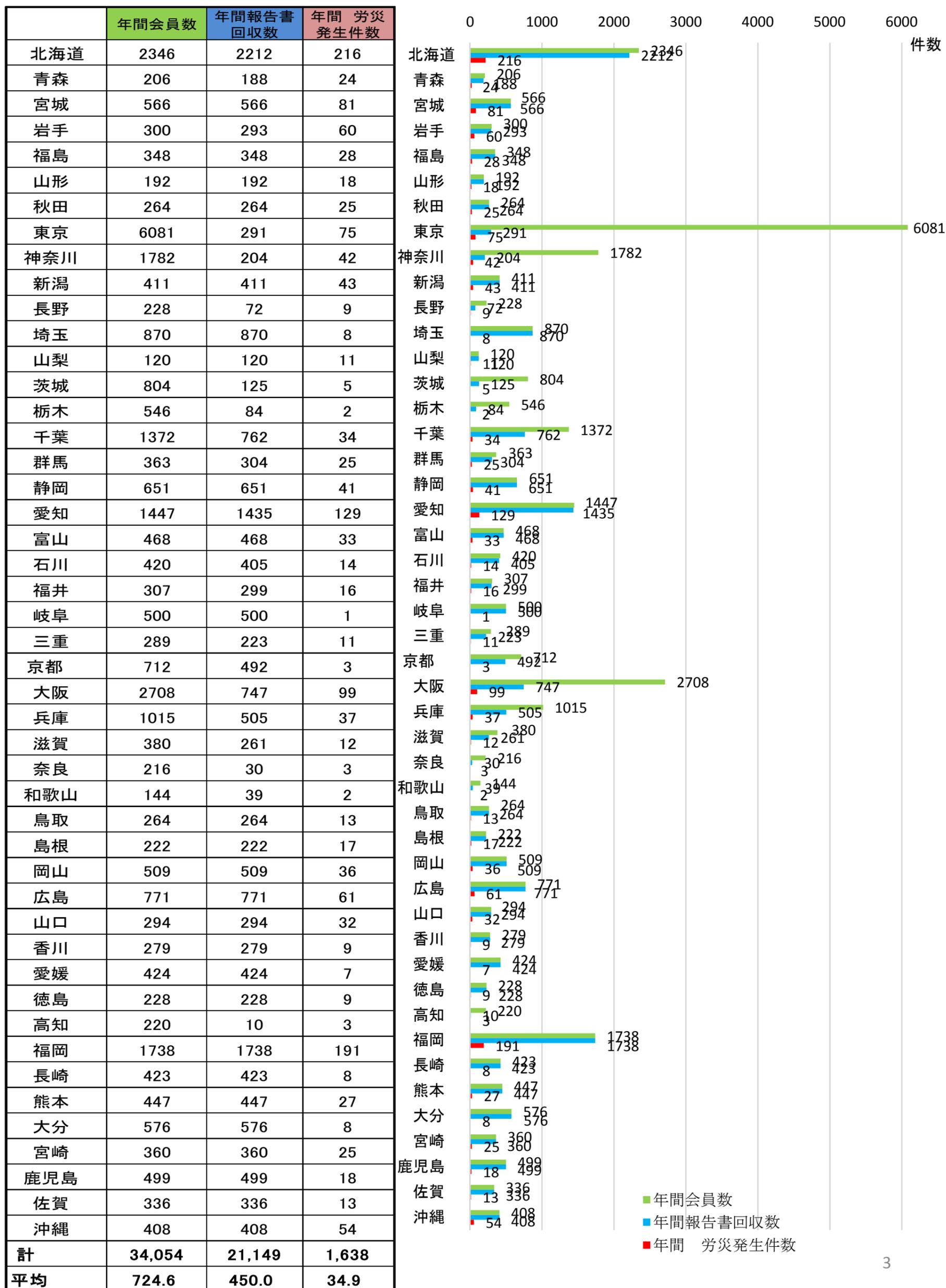


図4は、前頁の図3の年間累計数を12で割り、一ヶ月平均で表したものです。

協会別<月平均> 会員数・報告書回収数・労災発生件数

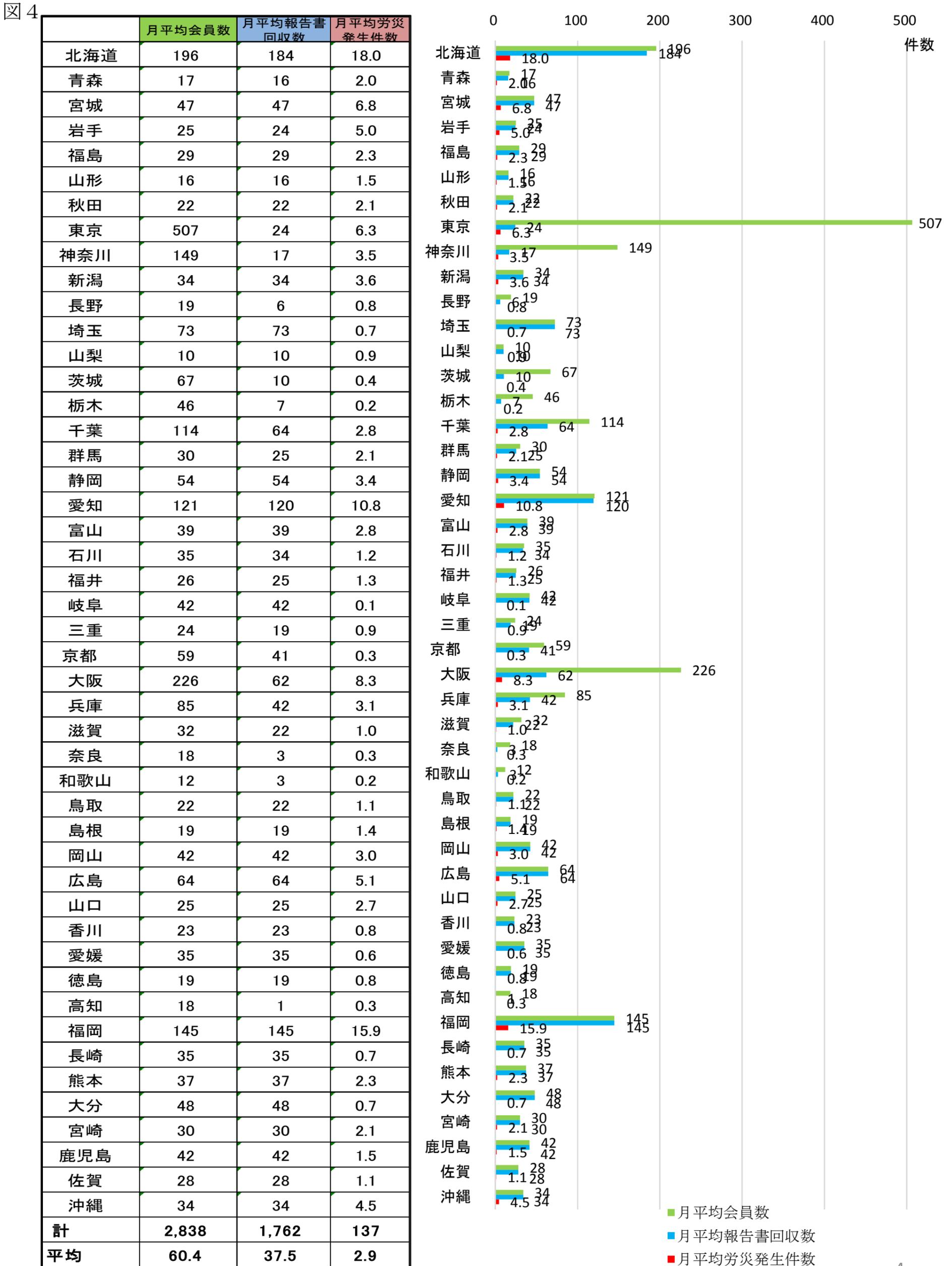
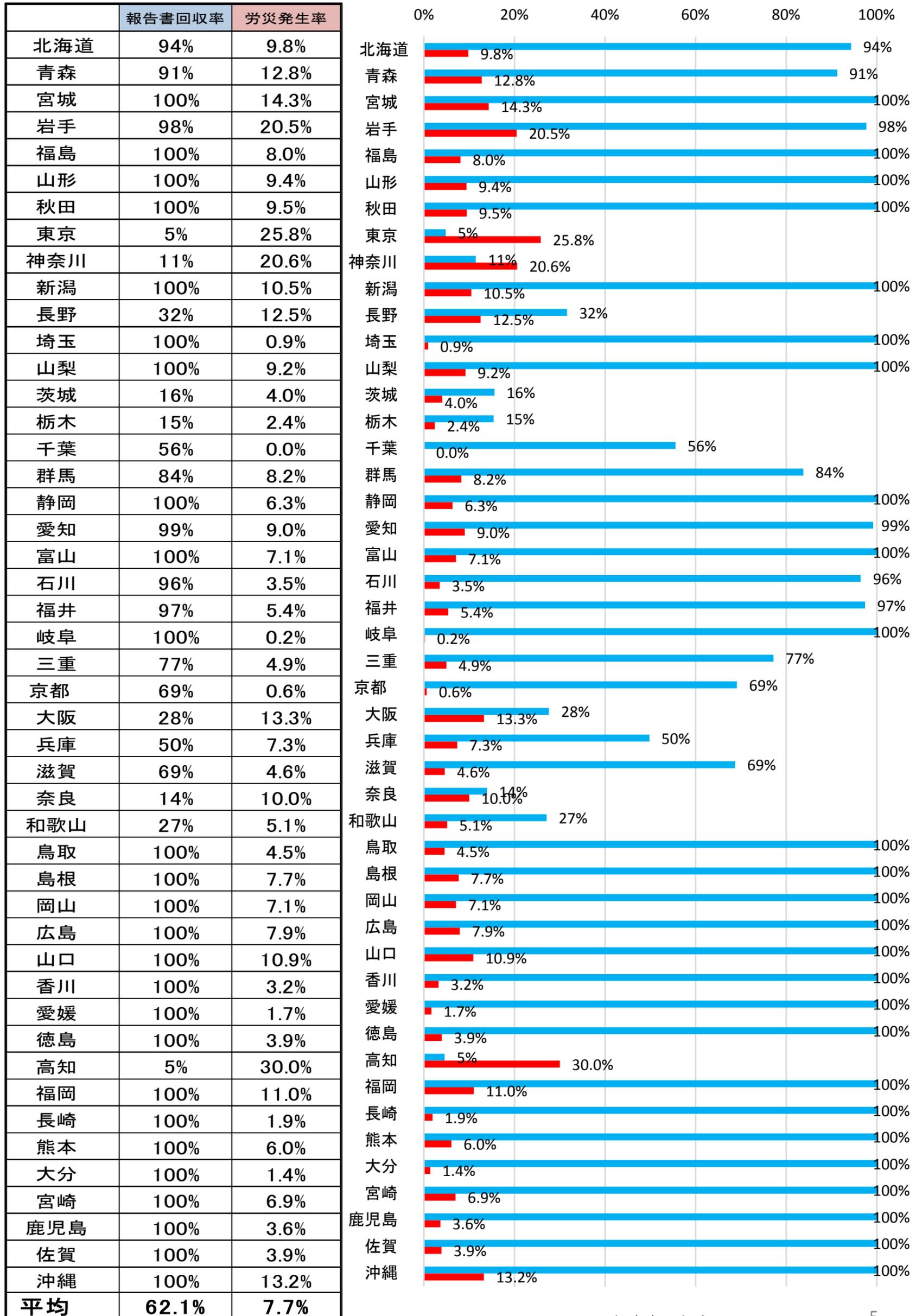


図5は、2頁の図3の年間報告書回収数、年間労災発生件数をそれぞれ率（％）で表したものです。回収率100％の中国地区と、九州地区以外にも、北海道地区、東北地区、中部北陸地区では、90％～100％の協会も多数あります。

協会別＜年間＞ 報告書回収率・労災発生率

図5



■ 報告書回収率  
■ 労災発生率

図6、図7、図8は、事故の型別です。発生件数は7月が多くなっています。また、事故の型では転倒が最も多く発生し、労働災害全体に占める割合は約40%を占め、次いで墜落・転落の9.4%となっております。

図6

### 事故の型別一月別

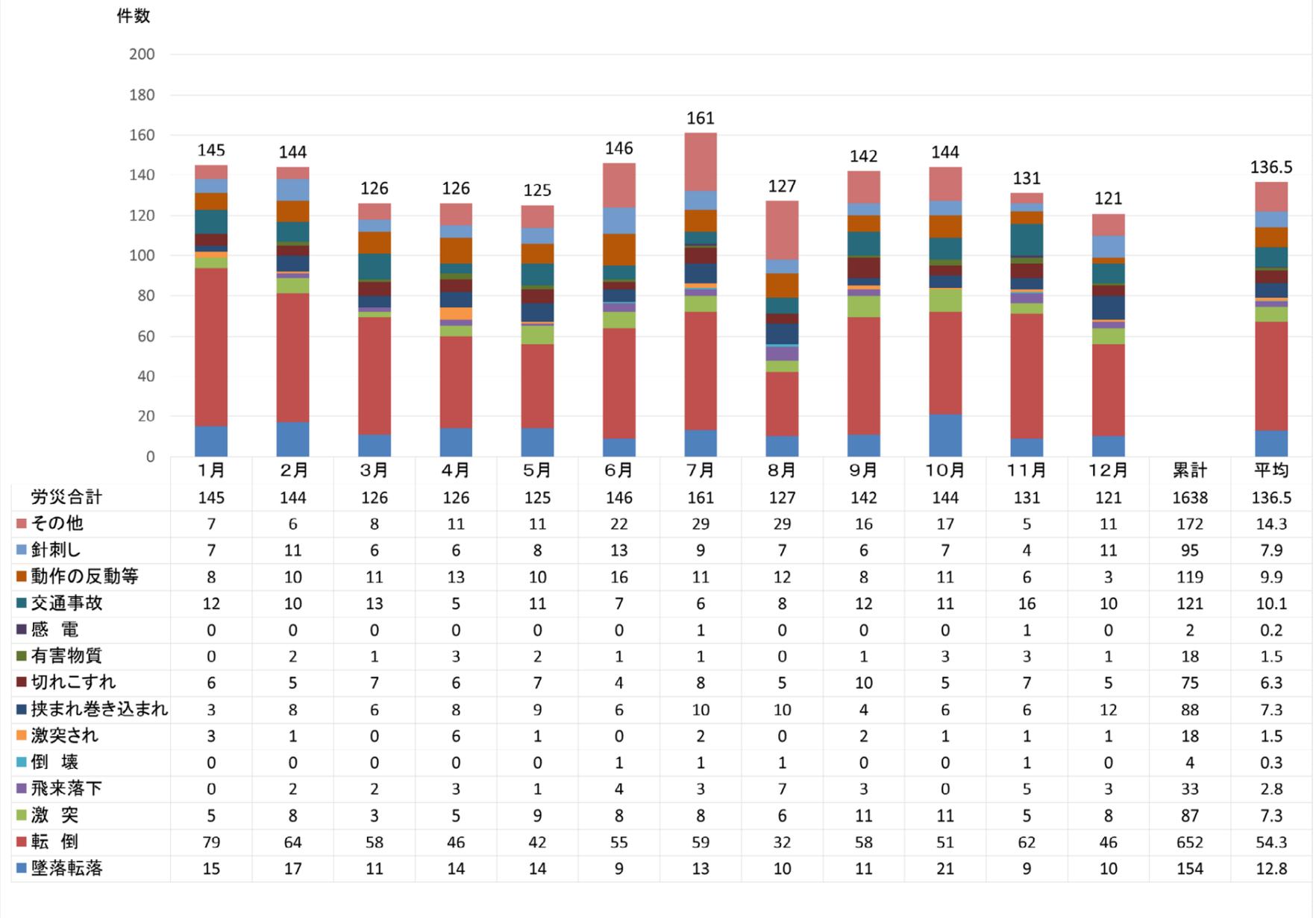
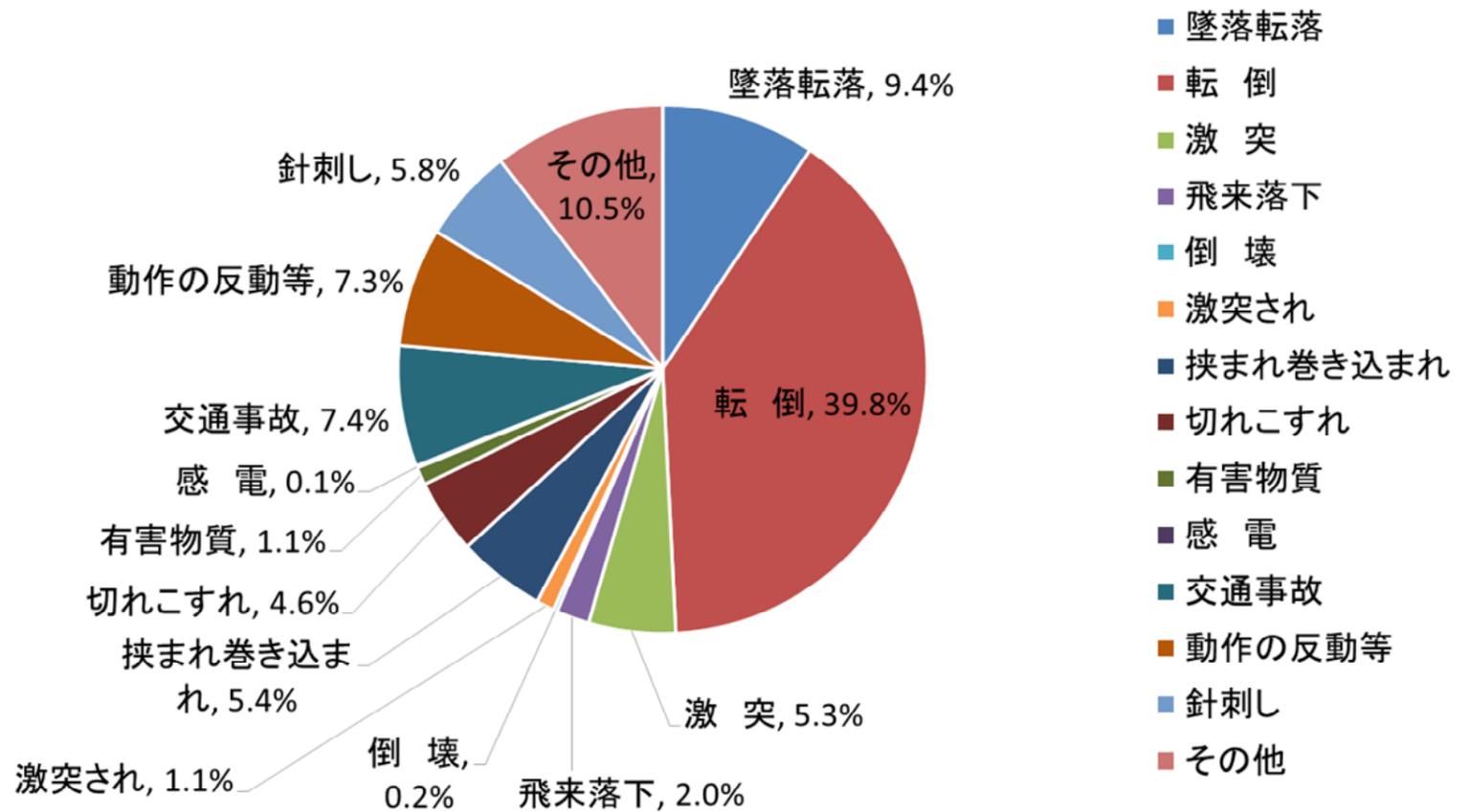


図7

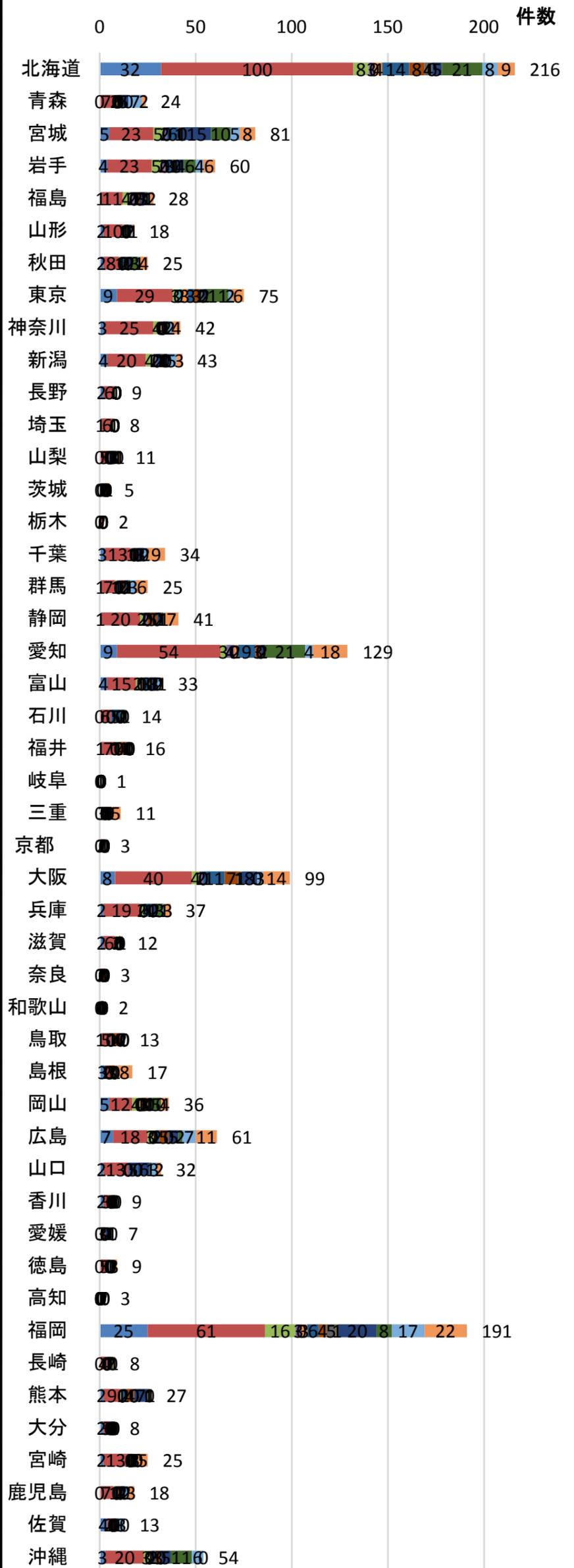
### 事故の型別一割合



事故の型別 協会別

図 8

	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	倒壊	激突され	挟まれ巻き込まれ	切れこすれ	有害物質	感電	交通事故	動作の反動等	針刺し	その他	計
北海道	32	100	8	3	0	4	14	8	4	0	5	21	8	9	216
青森	0	7	2	0	0	0	0	1	0	0	5	0	7	2	24
宮城	5	23	5	2	0	0	6	1	1	0	15	10	5	8	81
岩手	4	23	5	2	0	1	3	1	1	0	4	6	4	6	60
福島	1	11	4	2	0	0	1	2	0	0	3	1	1	2	28
山形	2	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	18
秋田	2	8	1	1	0	0	2	1	0	0	2	3	1	4	25
東京	9	29	3	0	2	3	3	3	2	0	2	11	2	6	75
神奈川	3	25	4	0	0	1	0	0	0	0	1	2	2	4	42
新潟	4	20	4	2	0	0	2	1	1	0	1	0	5	3	43
長野	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
埼玉	1	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
山梨	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	1	11
茨城	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5
栃木	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
千葉	3	13	1	1	0	0	1	1	0	0	3	0	2	9	34
群馬	1	7	1	1	0	0	1	2	0	0	2	1	3	6	25
静岡	1	20	2	2	0	0	0	5	0	0	2	1	1	7	41
愛知	9	54	3	4	0	2	9	3	0	0	2	21	4	18	129
富山	4	15	2	1	0	1	3	1	0	0	3	0	2	1	33
石川	0	6	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	1	14
福井	1	7	0	1	1	0	0	4	1	0	1	0	0	0	16
岐阜	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
三重	0	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	5	11
京都	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
大阪	8	40	4	2	0	0	11	7	1	1	8	0	3	14	99
兵庫	2	19	2	0	0	0	4	1	0	0	2	3	1	3	37
滋賀	2	6	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	12
奈良	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
和歌山	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
鳥取	1	5	0	0	0	0	1	4	0	0	2	0	0	0	13
島根	3	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	8	17
岡山	5	12	4	0	0	1	0	3	1	0	1	5	0	4	36
広島	7	18	3	0	0	1	2	5	0	0	5	2	7	11	61
山口	2	13	0	0	0	0	5	0	0	0	6	1	3	2	32
香川	2	3	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	9
愛媛	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	7
徳島	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9
高知	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
福岡	25	61	16	3	0	3	6	4	5	1	20	8	17	22	191
長崎	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	8
熊本	2	9	1	0	0	0	2	4	0	0	7	1	0	1	27
大分	2	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	8
宮崎	2	13	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	5	25
鹿児島	0	7	1	1	0	0	0	2	0	0	2	0	2	3	18
佐賀	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	0	13
沖縄	3	20	3	0	0	1	2	3	0	0	5	11	6	0	54
計	154	652	87	33	4	18	88	75	18	2	121	119	95	172	1,638
平均	3.3	13.9	1.9	0.7	0.1	0.4	1.9	1.6	0.4	0.0	2.6	2.5	2.0	3.7	34.9
	9.4%	39.8%	5.3%	2.0%	0.2%	1.1%	5.4%	4.6%	1.1%	0.1%	7.4%	7.3%	5.8%	10.5%	100%



■ 墜落転落      ■ 転倒      ■ 激突      ■ 飛来落下      ■ 倒壊  
■ 激突され      ■ 挟まれ巻き込まれ      ■ 切れこすれ      ■ 有害物質      ■ 感電  
■ 交通事故      ■ 動作の反動等      ■ 針刺し      ■ その他

図9、図10、図11は、年齢階級別死傷者数です。50歳以上で労働災害全体の70以上強を占めていることがわかります。これは、従事者の年齢別の割合とも比例しています。（参考：ビルメンテナンス情報年鑑2016年齢階層別従業員数 パートタイマー）

図9

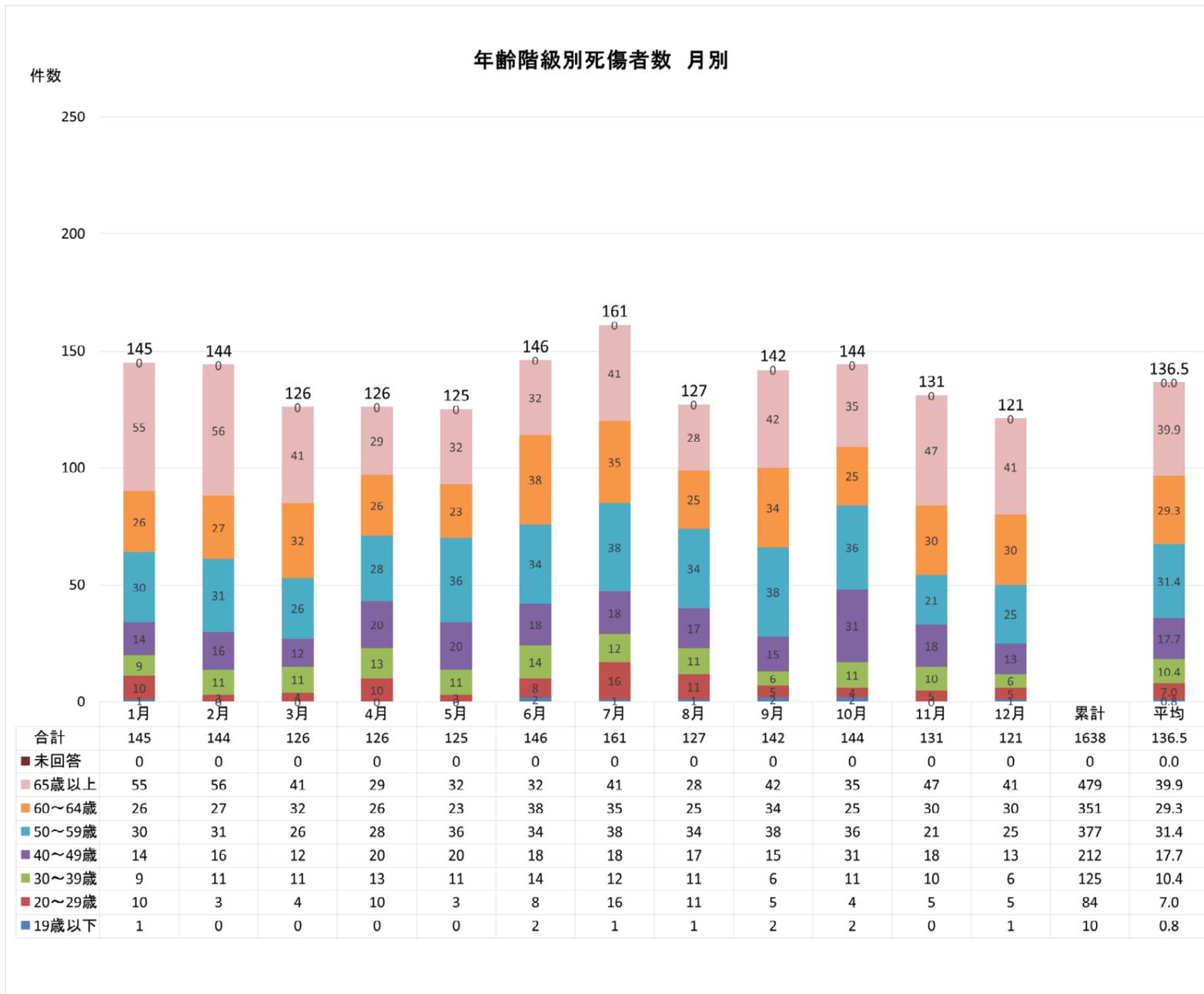


図10

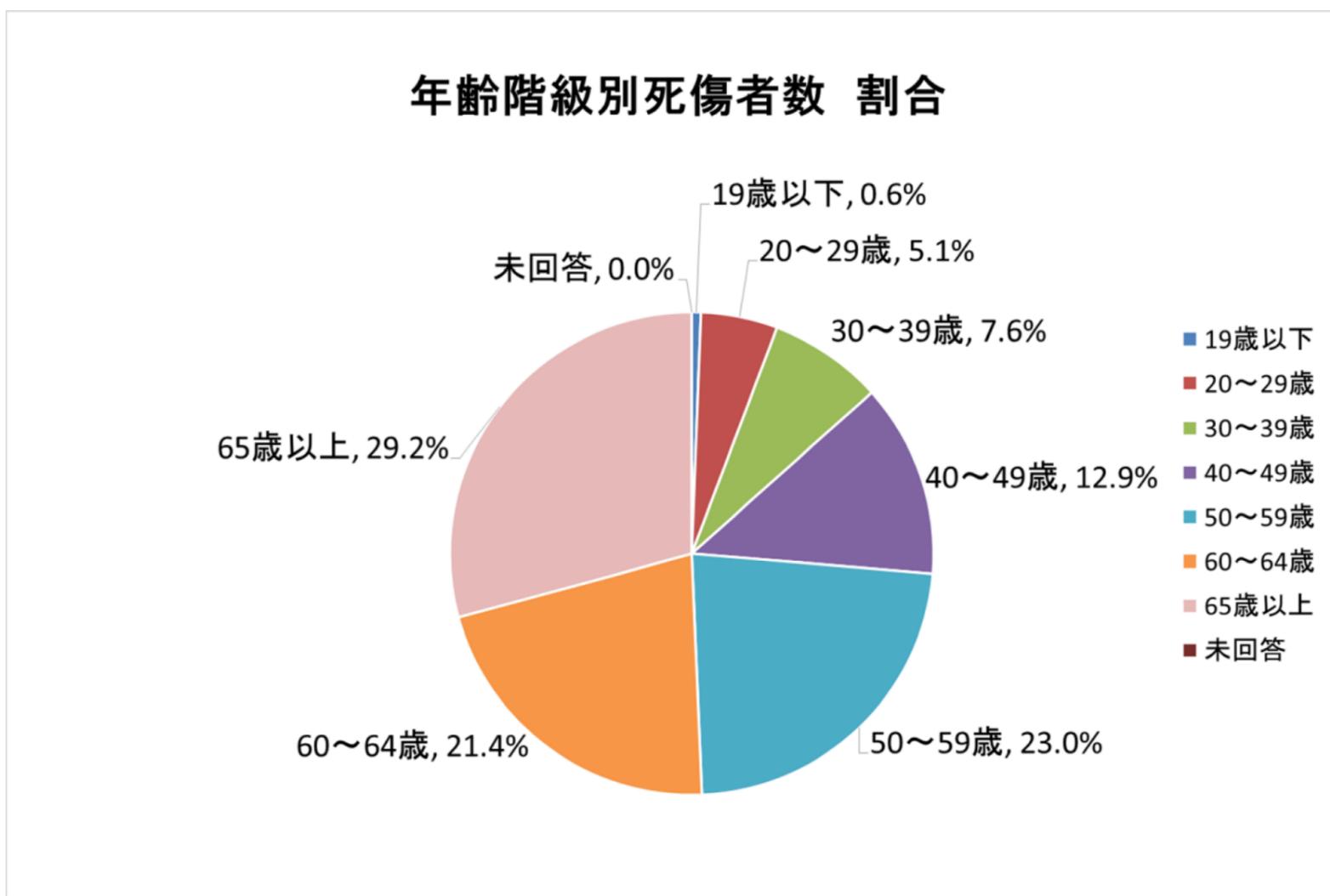
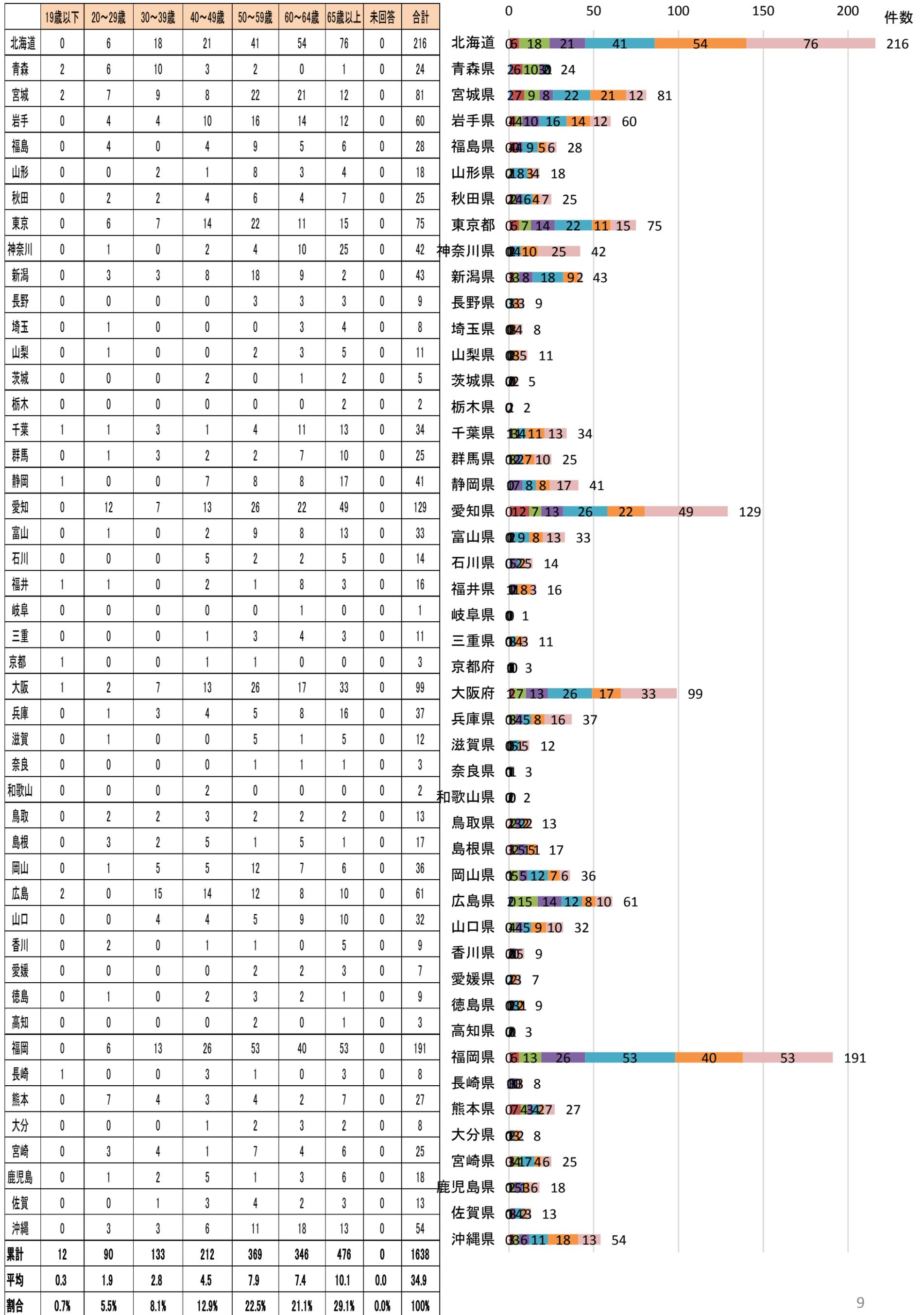


図11

年齢階級別死傷者数 協会別年間累計



■ 19歳以下 ■ 20~29歳 ■ 30~39歳 ■ 40~49歳 ■ 50~59歳 ■ 60~64歳 ■ 65歳以上 ■ 未回答

図12、図13、図14は、発生時間帯別発生件数です。半数以上が午前中に発生し、月別、協会別でもほぼ同様で、最も多い時間帯は「～7時」、「～11時」でそれぞれ21%となっています。

図12

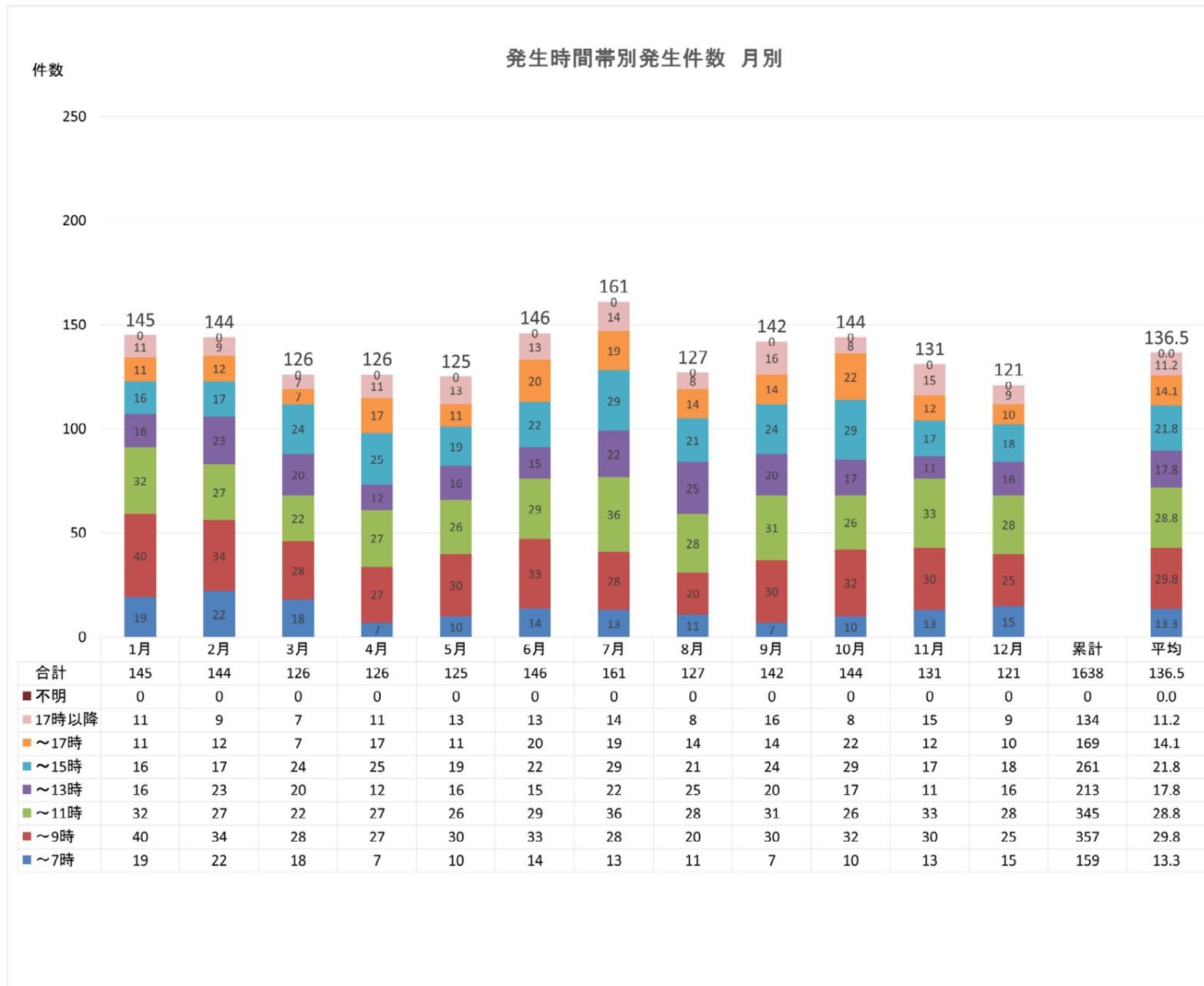


図13

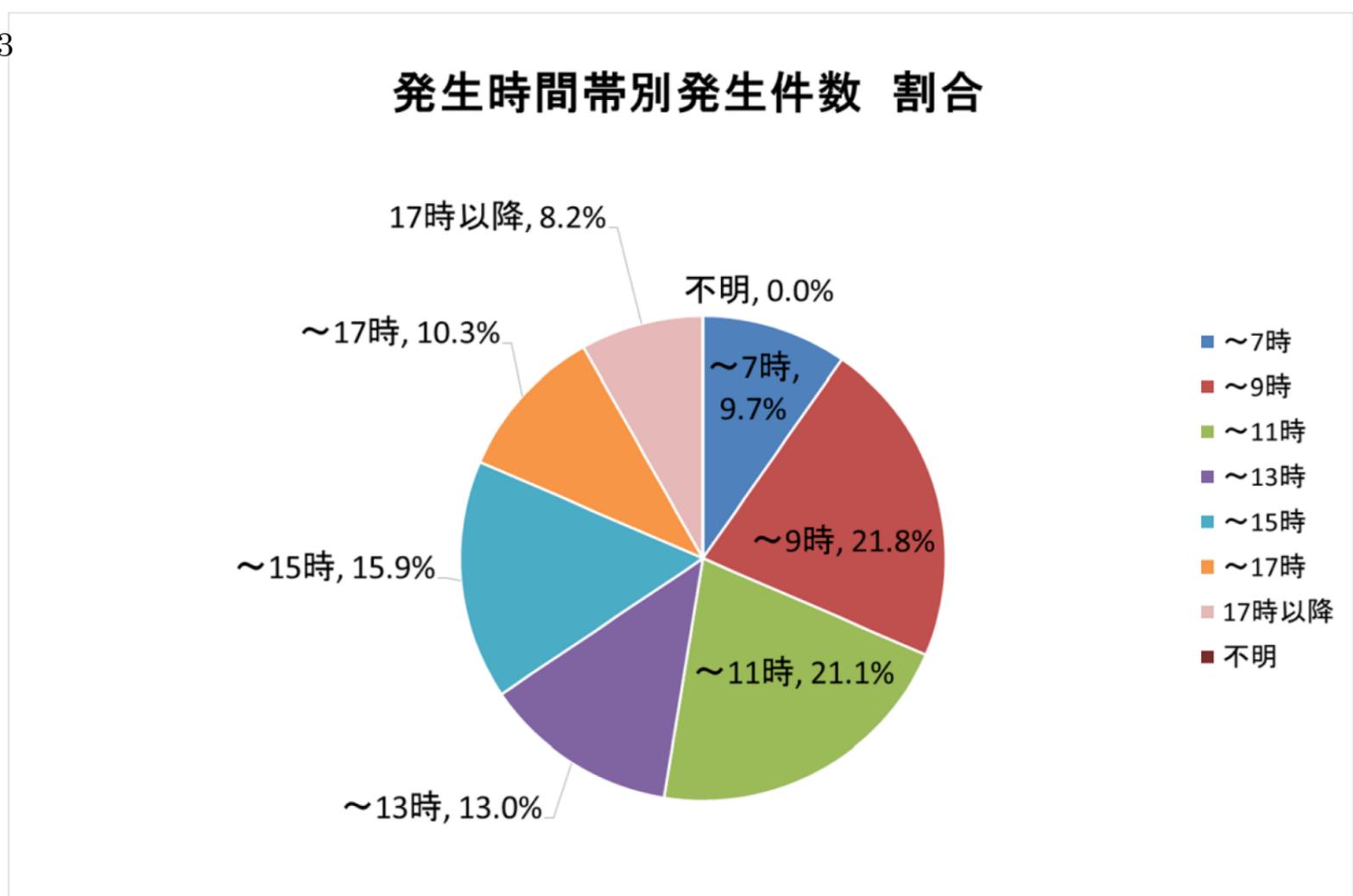


図14

発生時間帯別発生件数 協会別年間累計

区分	~7時	~9時	~11時	~13時	~15時	~17時	17時以降	不明	合計
北海道	24	57	34	29	36	16	20	0	216
青森	2	6	10	3	2	0	1	0	24
宮城	3	22	15	10	10	11	10	0	81
岩手	7	10	17	10	10	2	4	0	60
福島	0	6	7	6	4	3	2	0	28
山形	3	6	4	1	1	2	1	0	18
秋田	3	5	5	4	8	0	0	0	25
東京	17	16	14	10	8	7	3	0	75
神奈川	5	3	11	6	9	5	3	0	42
新潟	4	9	10	7	7	5	1	0	43
長野	0	5	0	2	1	0	1	0	9
埼玉	1	0	4	0	2	1	0	0	8
山梨	1	0	4	1	1	1	3	0	11
茨城	0	0	1	1	2	1	0	0	5
栃木	1	0	0	0	1	0	0	0	2
千葉	3	6	8	5	6	3	3	0	34
群馬	1	3	8	2	8	3	0	0	25
静岡	0	11	11	4	7	4	4	0	41
愛知	13	27	31	19	20	7	12	0	129
富山	1	7	7	6	3	4	5	0	33
石川	1	2	4	2	4	1	0	0	14
福井	0	4	5	1	3	3	0	0	16
岐阜	0	1	0	0	0	0	0	0	1
三重	0	3	2	1	2	2	1	0	11
京都	0	0	1	0	1	1	0	0	3
大阪	9	26	15	6	20	16	7	0	99
兵庫	8	11	8	4	2	2	2	0	37
滋賀	0	3	2	1	2	3	1	0	12
奈良	1	0	0	0	1	1	0	0	3
和歌山	0	0	0	0	0	1	1	0	2
鳥取	2	1	1	4	5	0	0	0	13
島根	0	0	2	4	6	4	1	0	17
岡山	6	6	7	7	6	2	2	0	36
広島	3	18	12	7	4	13	4	0	61
山口	5	5	11	5	4	2	0	0	32
香川	0	5	1	1	1	0	1	0	9
愛媛	2	2	1	0	2	0	0	0	7
徳島	0	0	6	1	1	0	1	0	9
高知	0	0	2	0	1	0	0	0	3
福岡	23	42	28	25	27	23	23	0	191
長崎	2	1	1	0	1	2	1	0	8
熊本	2	5	4	3	4	2	7	0	27
大分	0	2	3	1	1	0	1	0	8
宮崎	2	5	6	4	4	3	1	0	25
鹿児島	0	6	5	2	2	2	1	0	18
佐賀	0	5	2	3	1	0	2	0	13
沖縄	4	5	15	5	10	11	4	0	54
人	159	357	345	213	261	169	134	0	1638
平均	3.4	7.6	7.3	4.5	5.6	3.6	2.9	0.0	34.9
構成%	9.7%	21.8%	21.1%	13.0%	15.9%	10.3%	8.2%	0.0%	100%

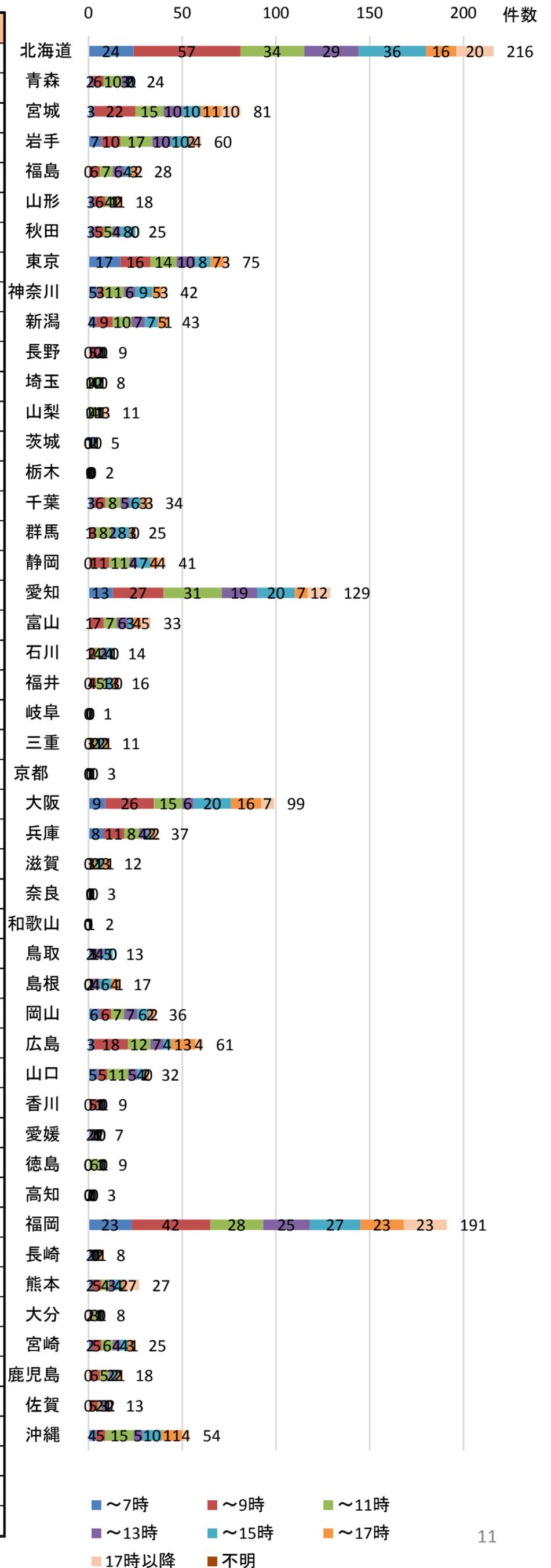


図15、図16、図17は、休業日数です。多いのは「休業なし」の37.4%ですが、休業4日以上が占める割合は全体の約51%と半分以上となっている状況です。

図15

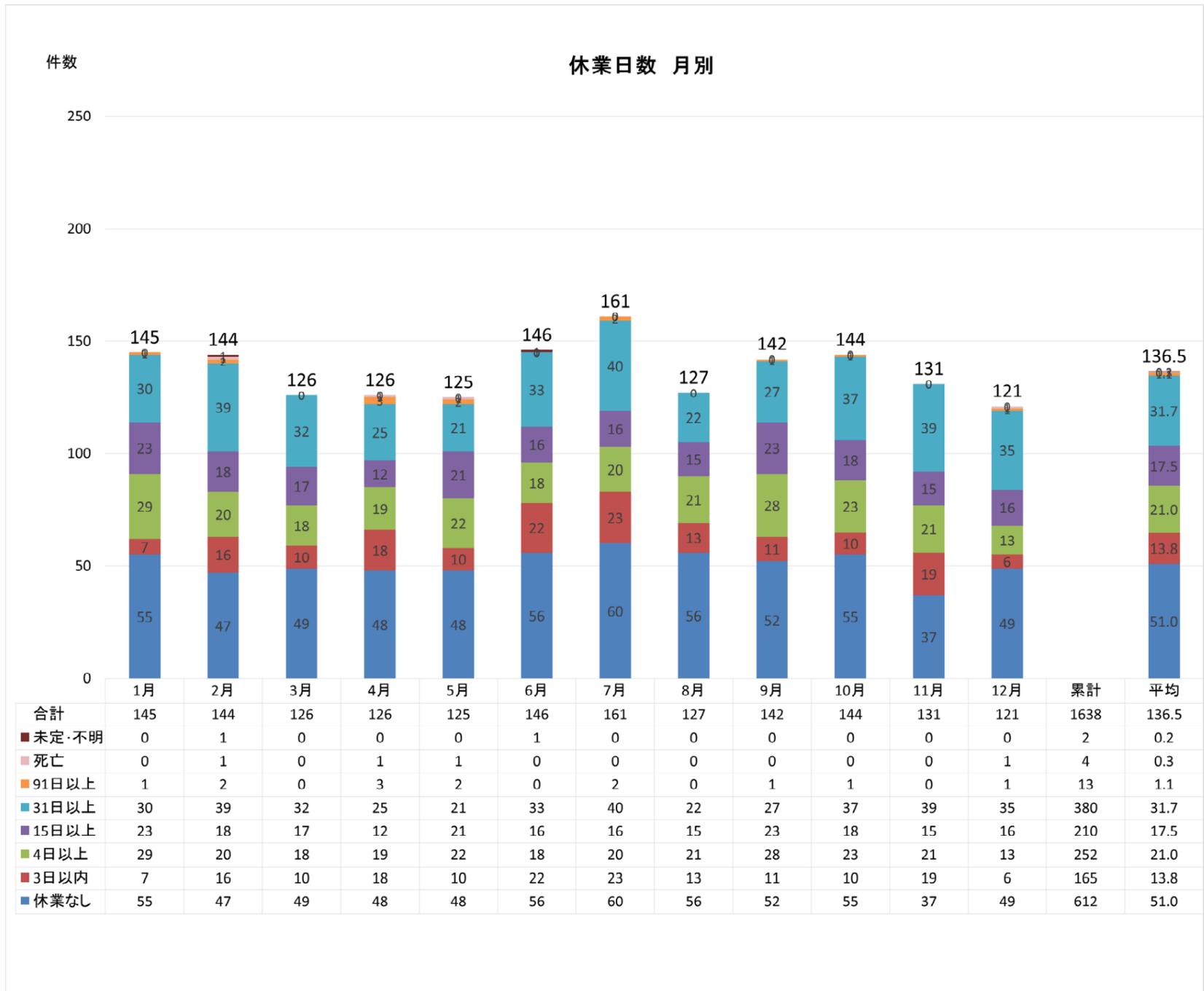


図16

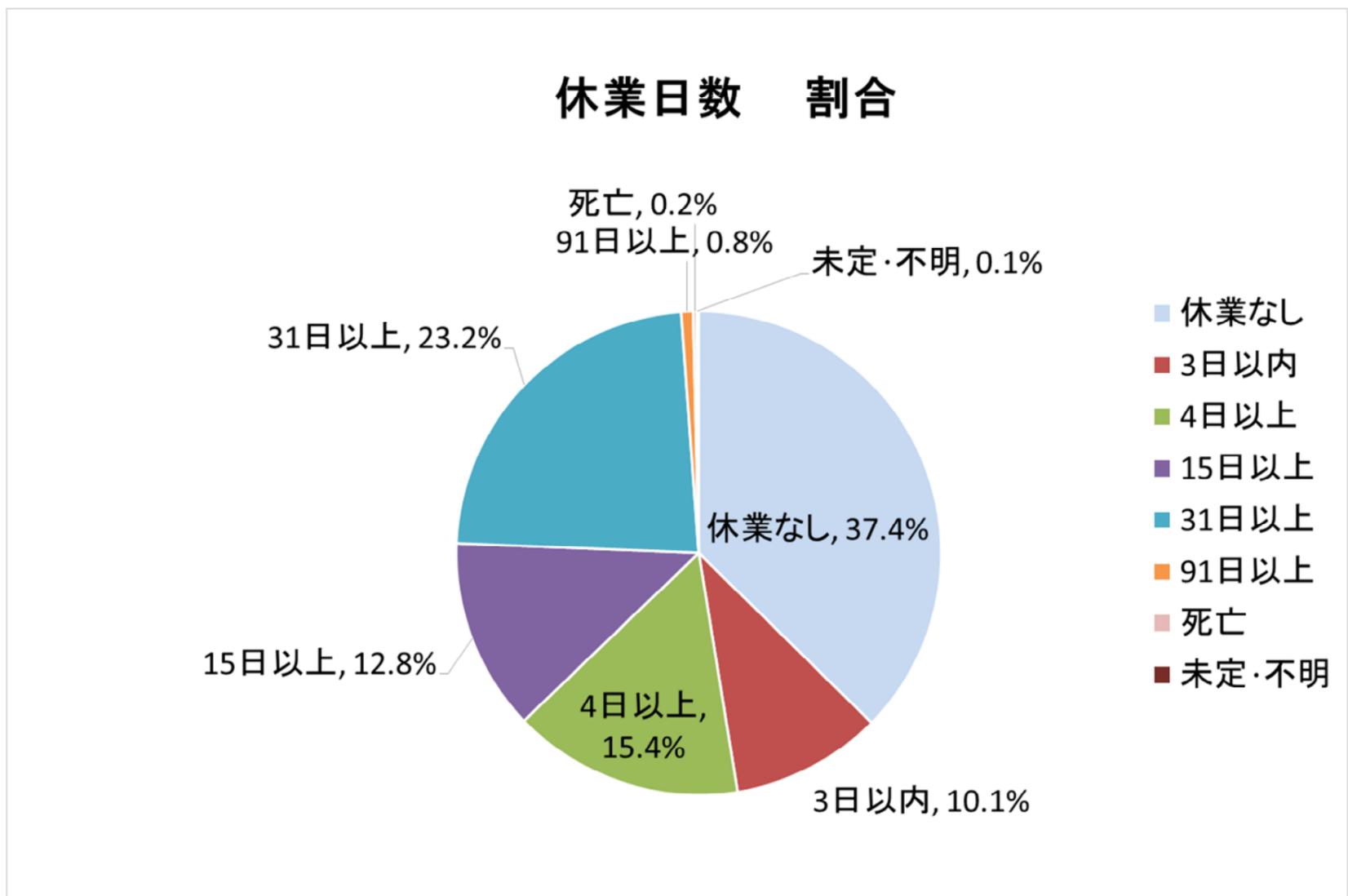


図17

休業日数一協会別年間累計

区分	休業なし	3日以内	4日以上	15日以上	31日以上	91日以上	死亡	未定・不明	合計
北海道	80	11	29	28	65	2	1	0	216
青森	16	2	2	2	2	0	0	0	24
宮城	34	11	14	10	12	0	0	0	81
岩手	25	7	14	2	11	0	1	0	60
福島	12	2	1	2	8	3	0	0	28
山形	6	4	3	3	2	0	0	0	18
秋田	6	3	6	4	6	0	0	0	25
東京	37	5	13	8	12	0	0	0	75
神奈川	13	1	7	8	13	0	0	0	42
新潟	20	5	5	8	5	0	0	0	43
長野	2	0	1	3	3	0	0	0	9
埼玉	2	0	2	1	2	0	0	1	8
山梨	4	1	3	2	1	0	0	0	11
茨城	3	0	1	0	1	0	0	0	5
栃木	0	0	0	0	2	0	0	0	2
千葉	13	4	4	6	7	0	0	0	34
群馬	6	6	6	0	6	0	0	1	25
静岡	17	3	7	4	9	1	0	0	41
愛知	41	22	23	13	29	1	0	0	129
富山	9	2	7	5	10	0	0	0	33
石川	6	0	1	3	4	0	0	0	14
福井	6	5	3	2	0	0	0	0	16
岐阜	0	0	0	0	1	0	0	0	1
三重	4	2	4	0	1	0	0	0	11
京都	1	1	1	0	0	0	0	0	3
大阪	35	8	23	14	19	0	0	0	99
兵庫	8	1	8	8	12	0	0	0	37
滋賀	4	1	2	0	5	0	0	0	12
奈良	2	0	0	0	1	0	0	0	3
和歌山	0	0	2	0	0	0	0	0	2
鳥取	4	3	1	0	4	0	1	0	13
島根	11	0	3	2	1	0	0	0	17
岡山	7	12	15	1	1	0	0	0	36
広島	29	8	5	7	11	1	0	0	61
山口	8	4	1	6	13	0	0	0	32
香川	5	0	0	3	1	0	0	0	9
愛媛	1	0	1	1	4	0	0	0	7
徳島	5	0	1	0	3	0	0	0	9
高知	1	0	1	1	0	0	0	0	3
福岡	77	20	15	28	50	0	1	0	191
長崎	0	3	1	1	3	0	0	0	8
熊本	12	5	2	3	3	2	0	0	27
大分	1	0	0	1	5	1	0	0	8
宮崎	9	1	2	6	6	1	0	0	25
鹿児島	7	1	4	2	4	0	0	0	18
佐賀	7	0	2	1	3	0	0	0	13
沖縄	16	1	6	11	19	1	0	0	54
累計	612	165	252	210	380	13	4	2	1638
平均	13.0	3.5	5.4	4.5	8.1	0.3	0.1	0.0	34.9
構成%	37.4%	10.1%	15.4%	12.8%	23.2%	0.8%	0.2%	0.1%	100%

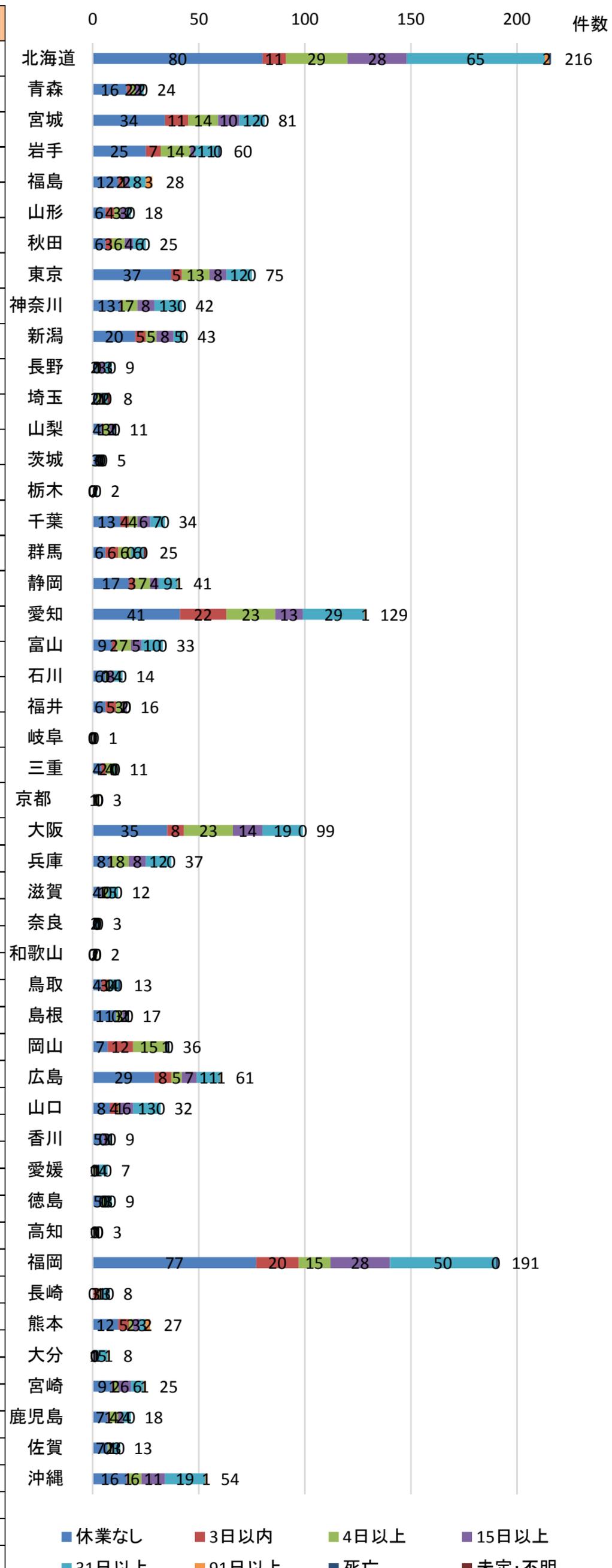


図18～28は、重篤災害の発生報告を集計したものです。休業日数91日以上又は死亡災害が該当します。平成27年は過去3年で最も多かった昨年と比べると14件に減少しましたが、死亡災害は4件と増加しています。

図18

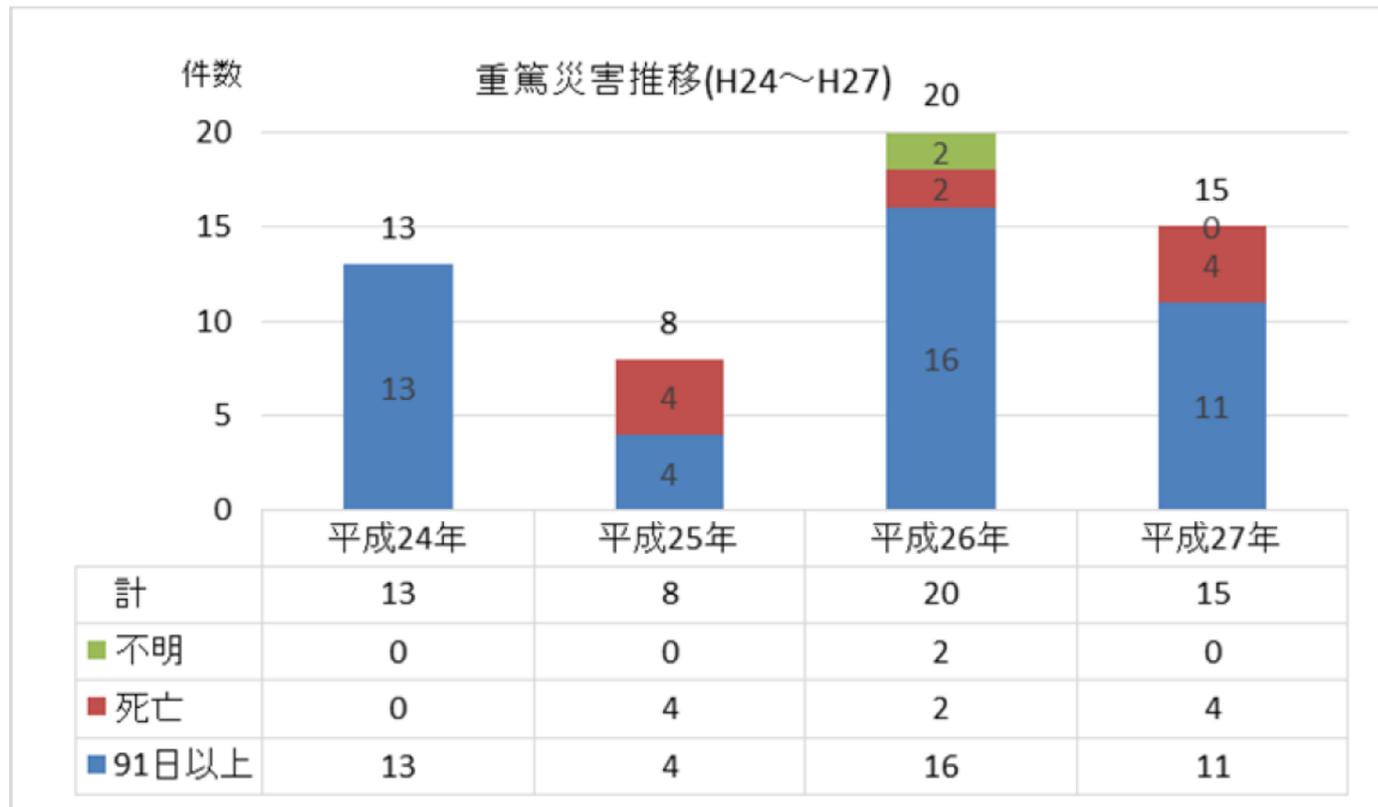


図19

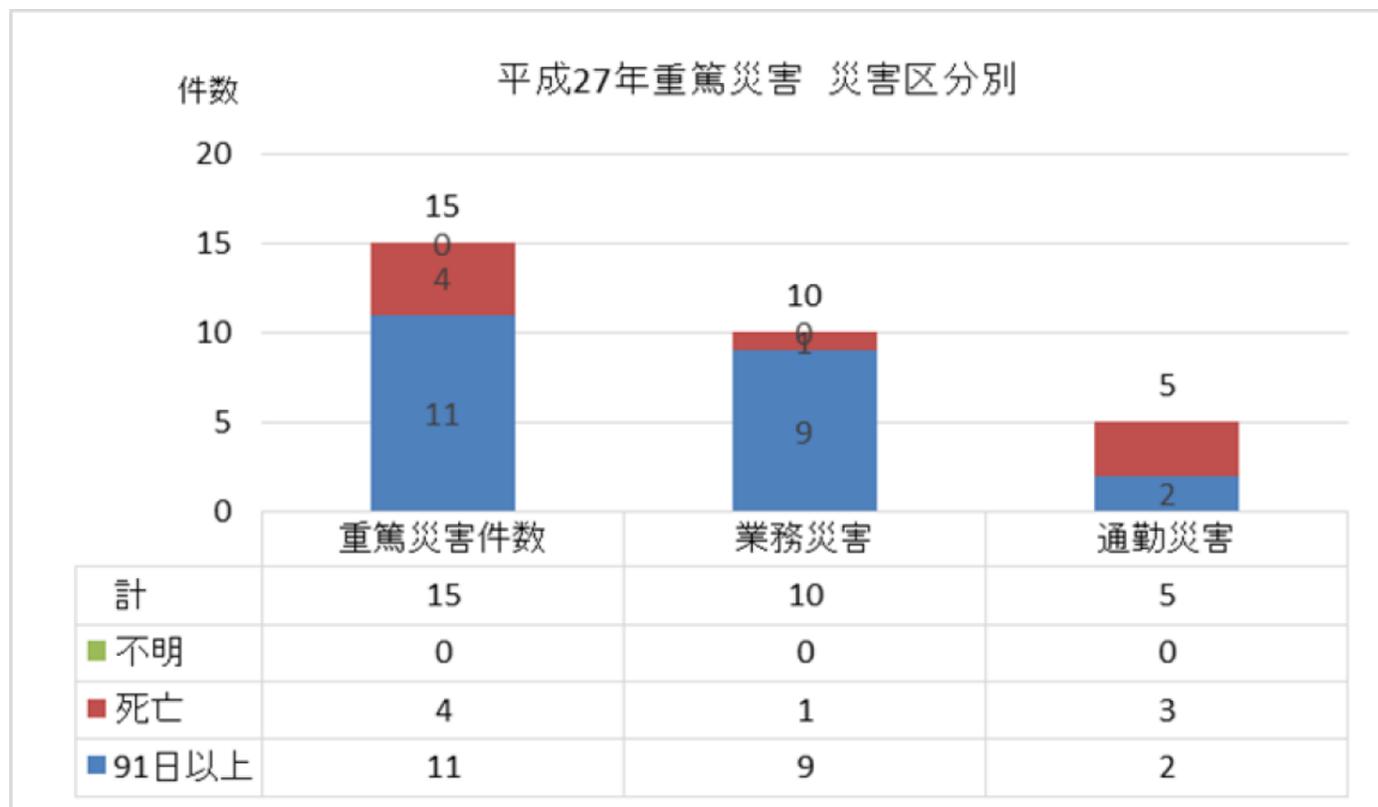
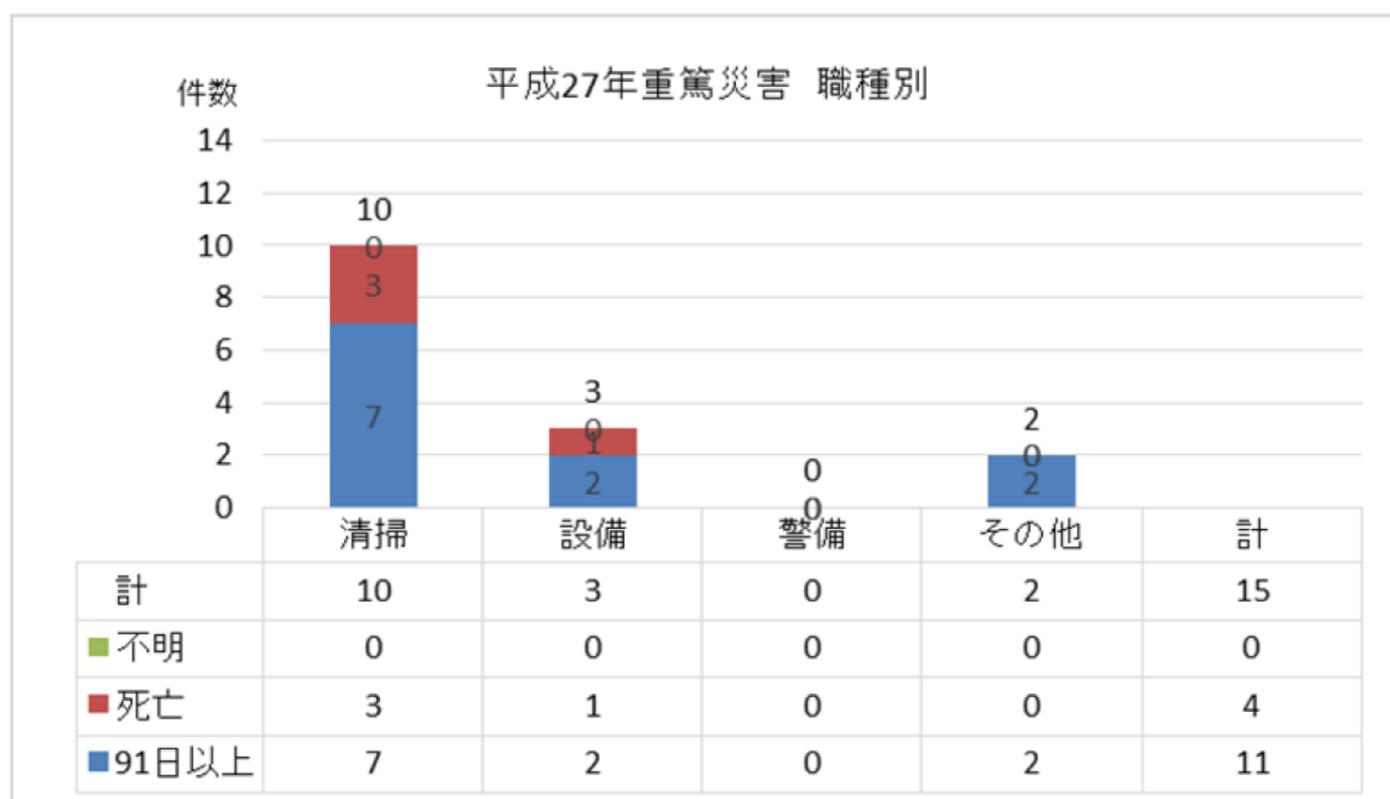


図20



男女別では、男女ともそれぞれ7件で、女性は全て清掃業務です。協会別では、福岡3件、熊本2件以外は全て1件で、事故の型別で多いのは、転倒の5件、次いで交通事故の4件となっています。

図21

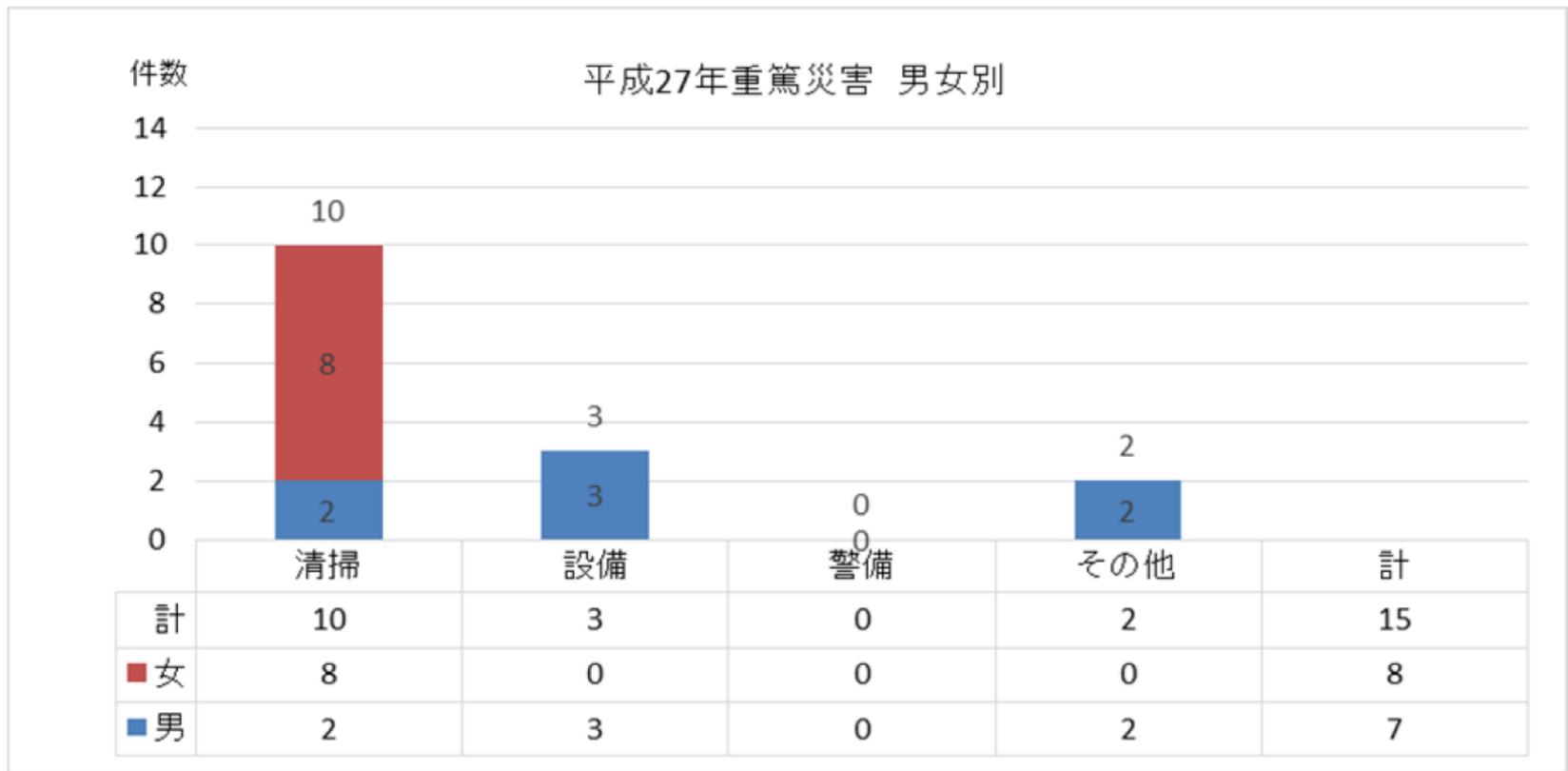


図22

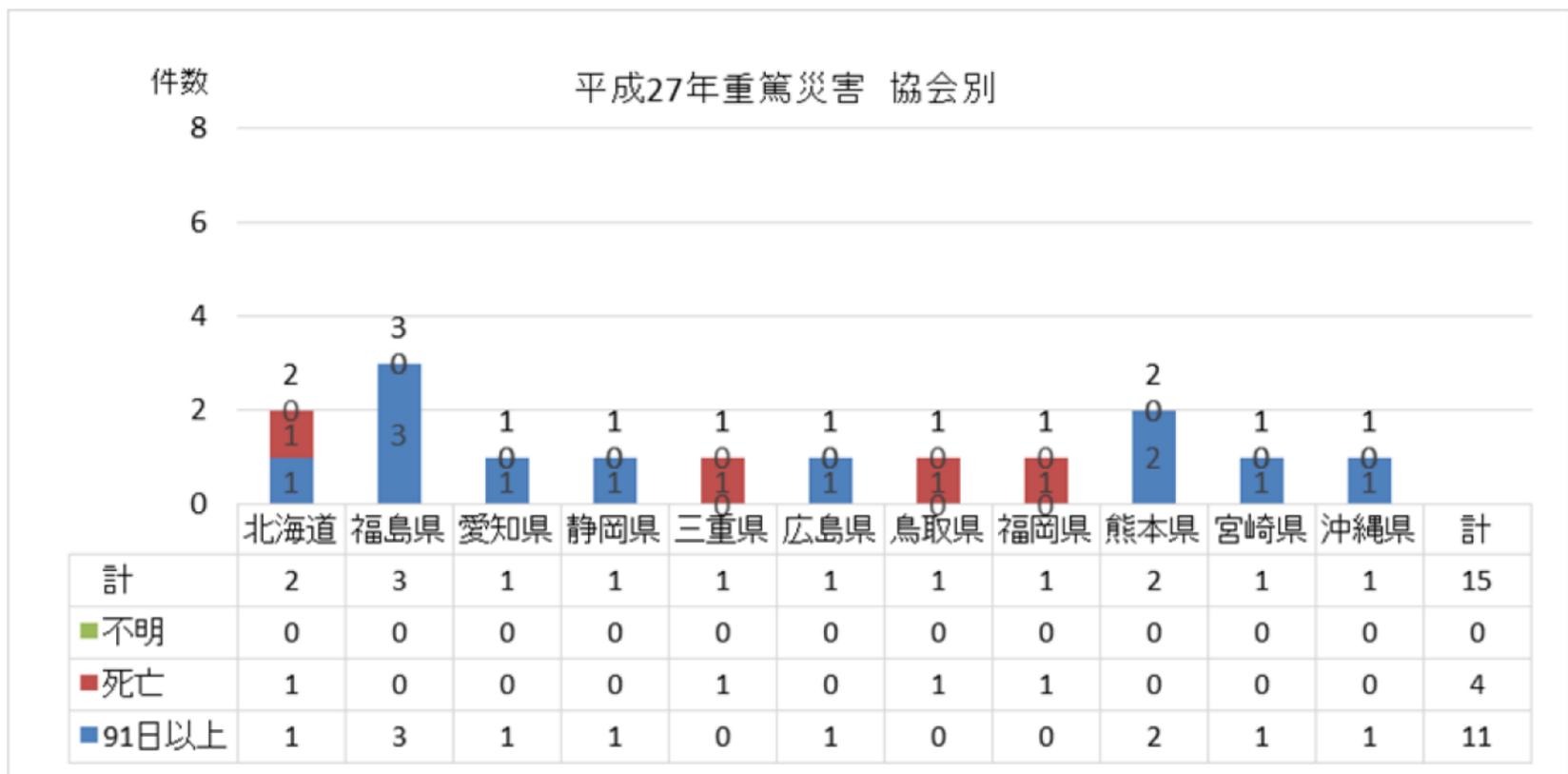
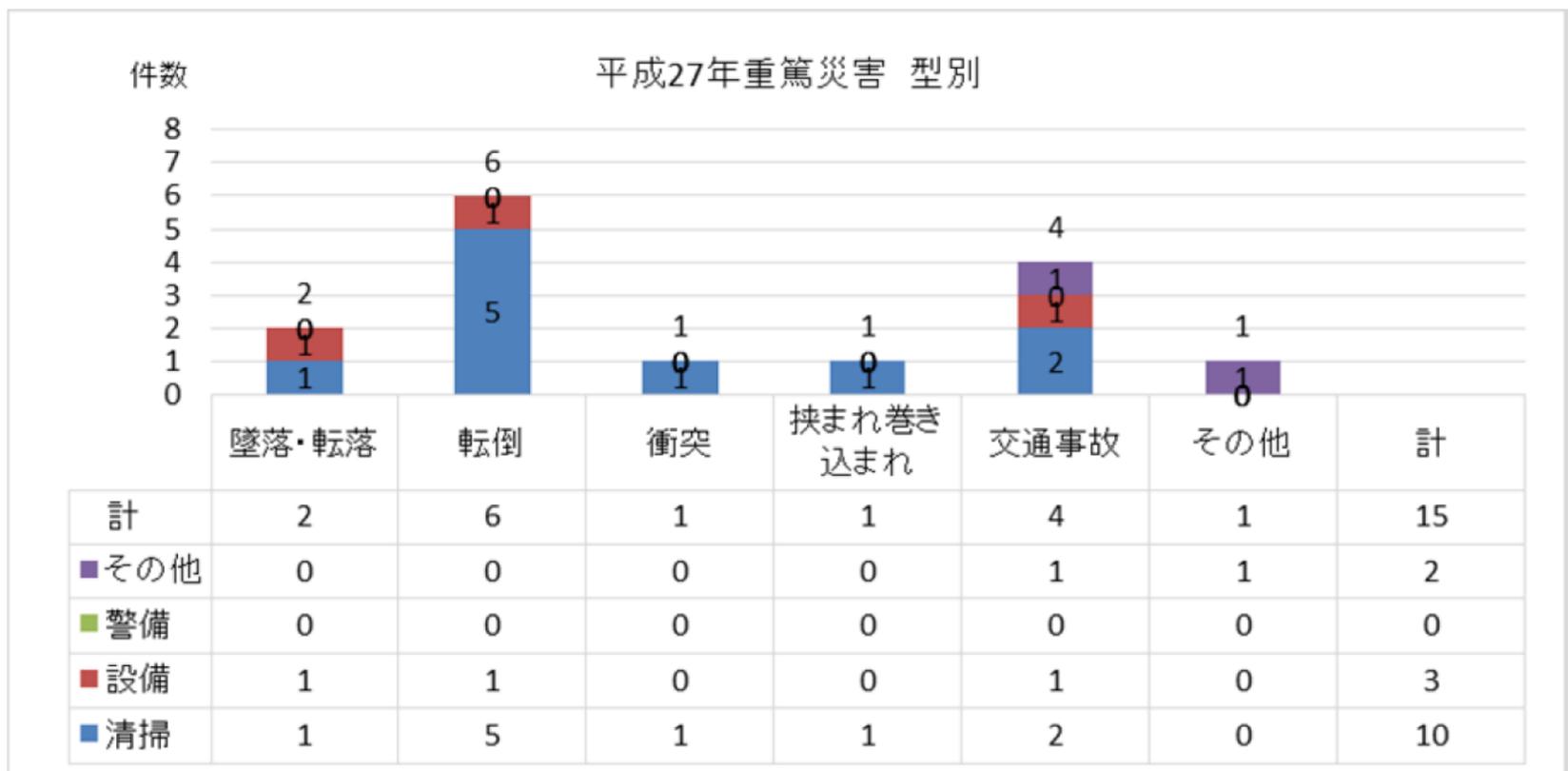


図23



月別では4月の4件が最も多く、曜日別では、木、金、時間別では午前中に多い傾向にあります。

図24

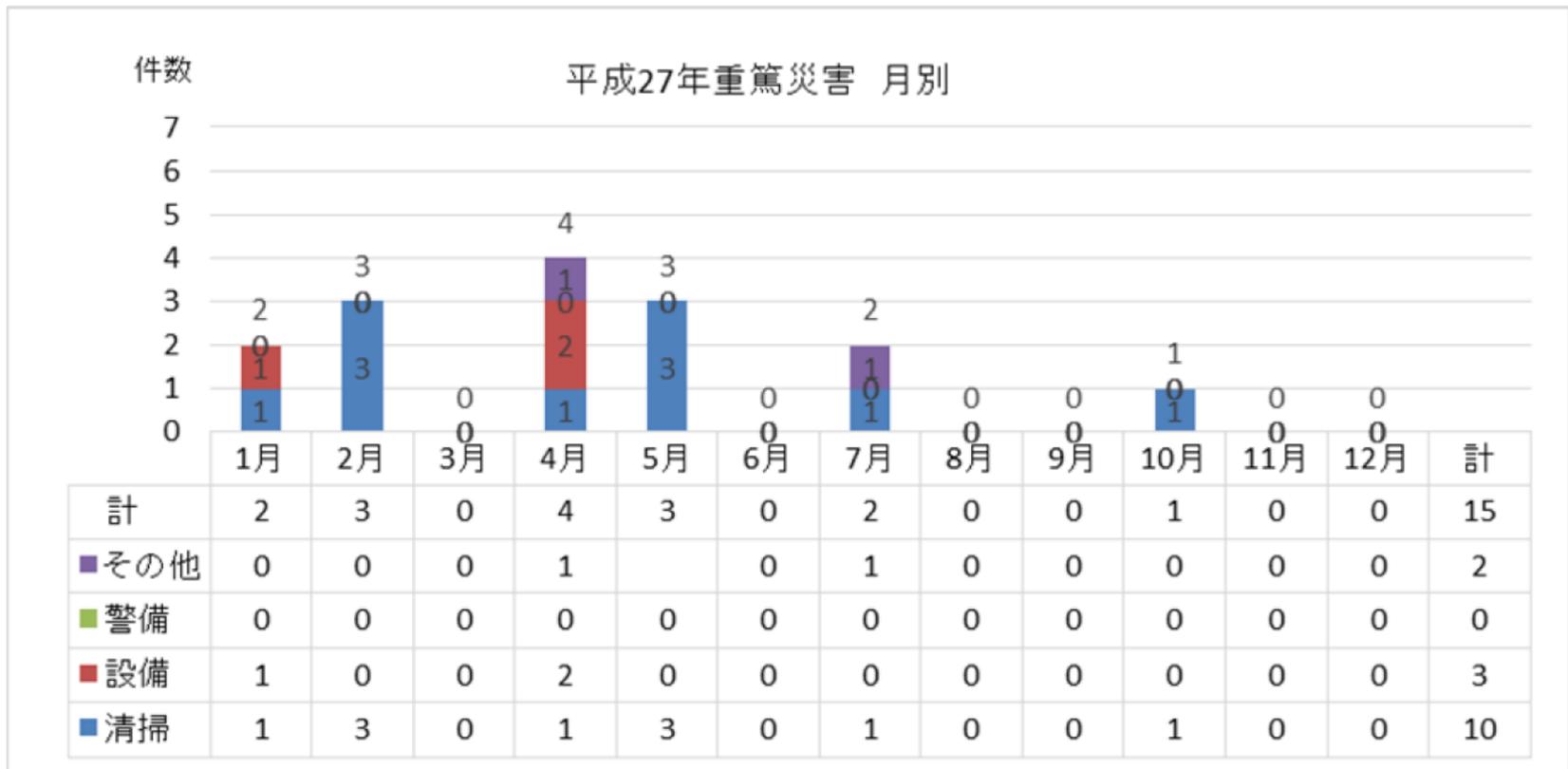


図25

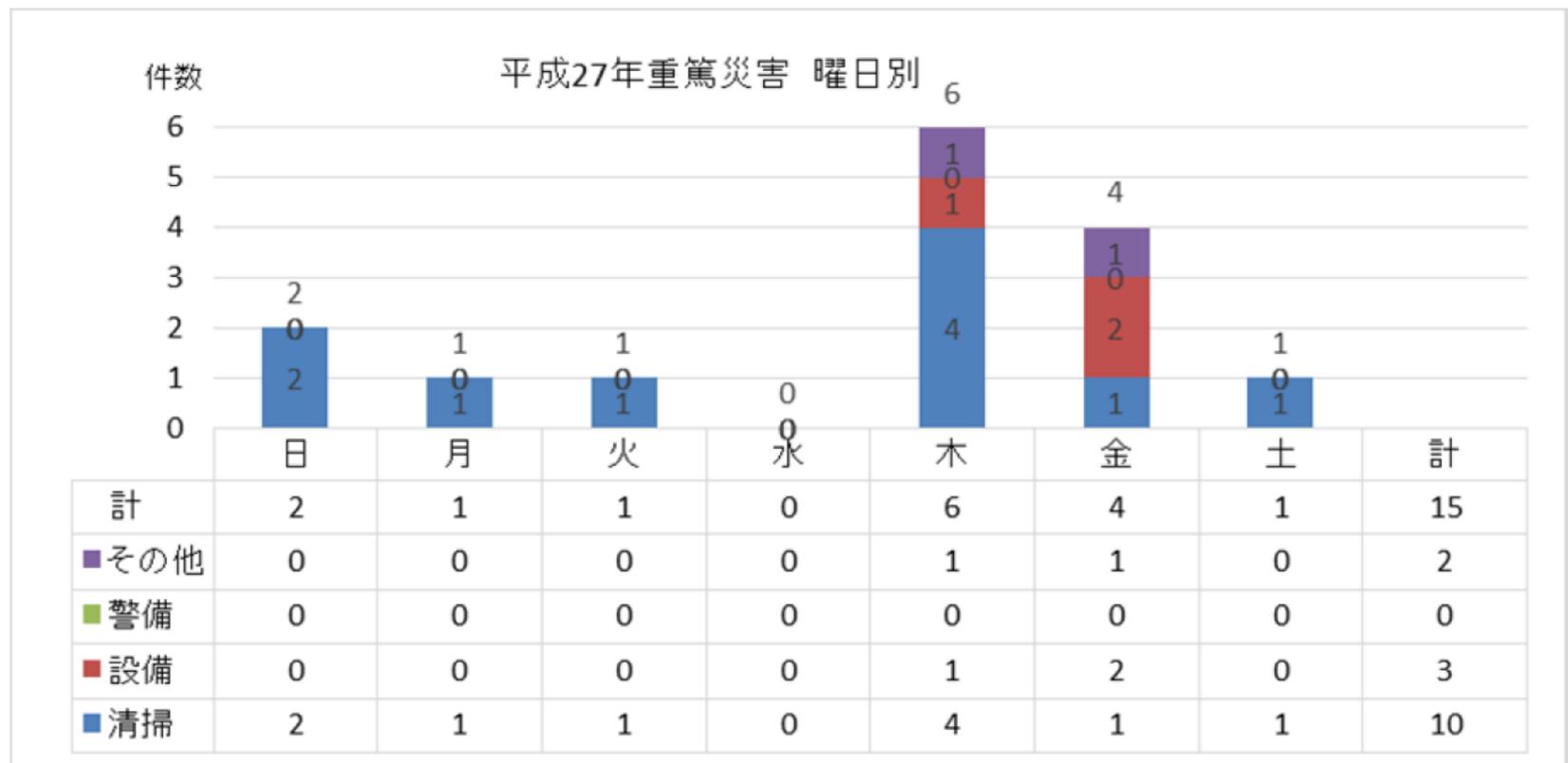
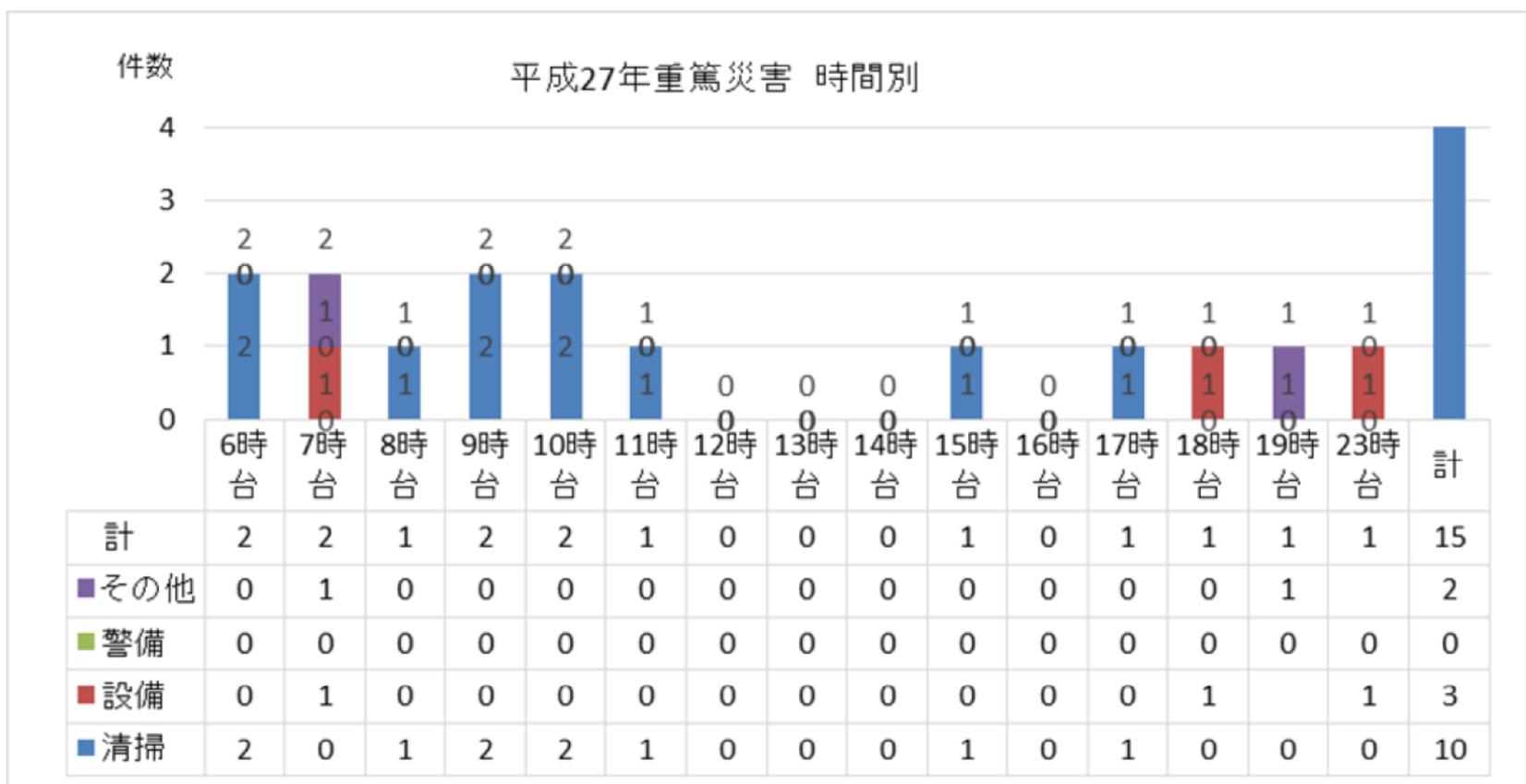


図26



年齢別では60歳以上の8件が最も多く、そのうち7件は清掃業務となっています。経験年数別では3年未満までが最も多く、清掃業務では初任者からベテランまで幅広く重篤災害が発生しています。

図27

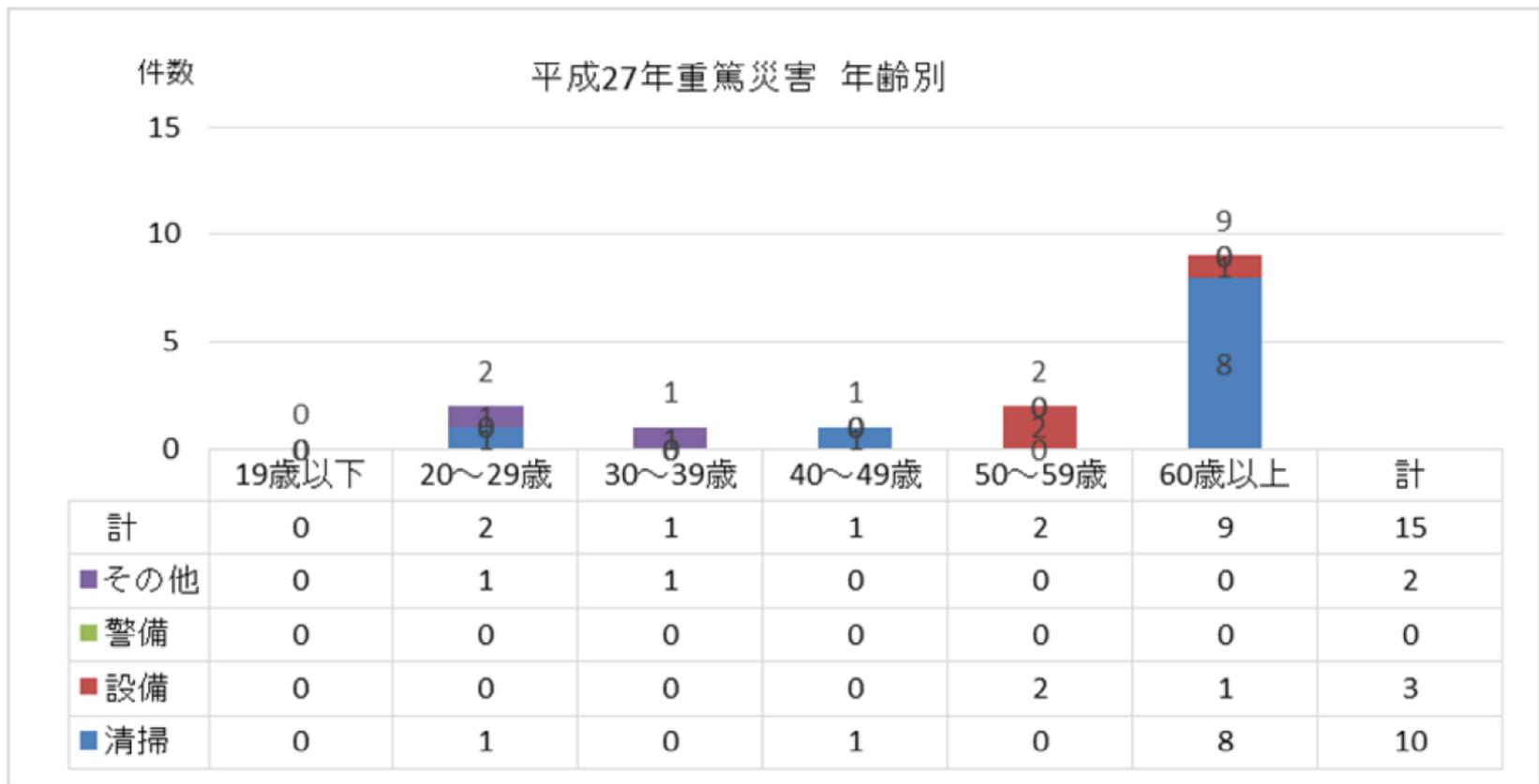
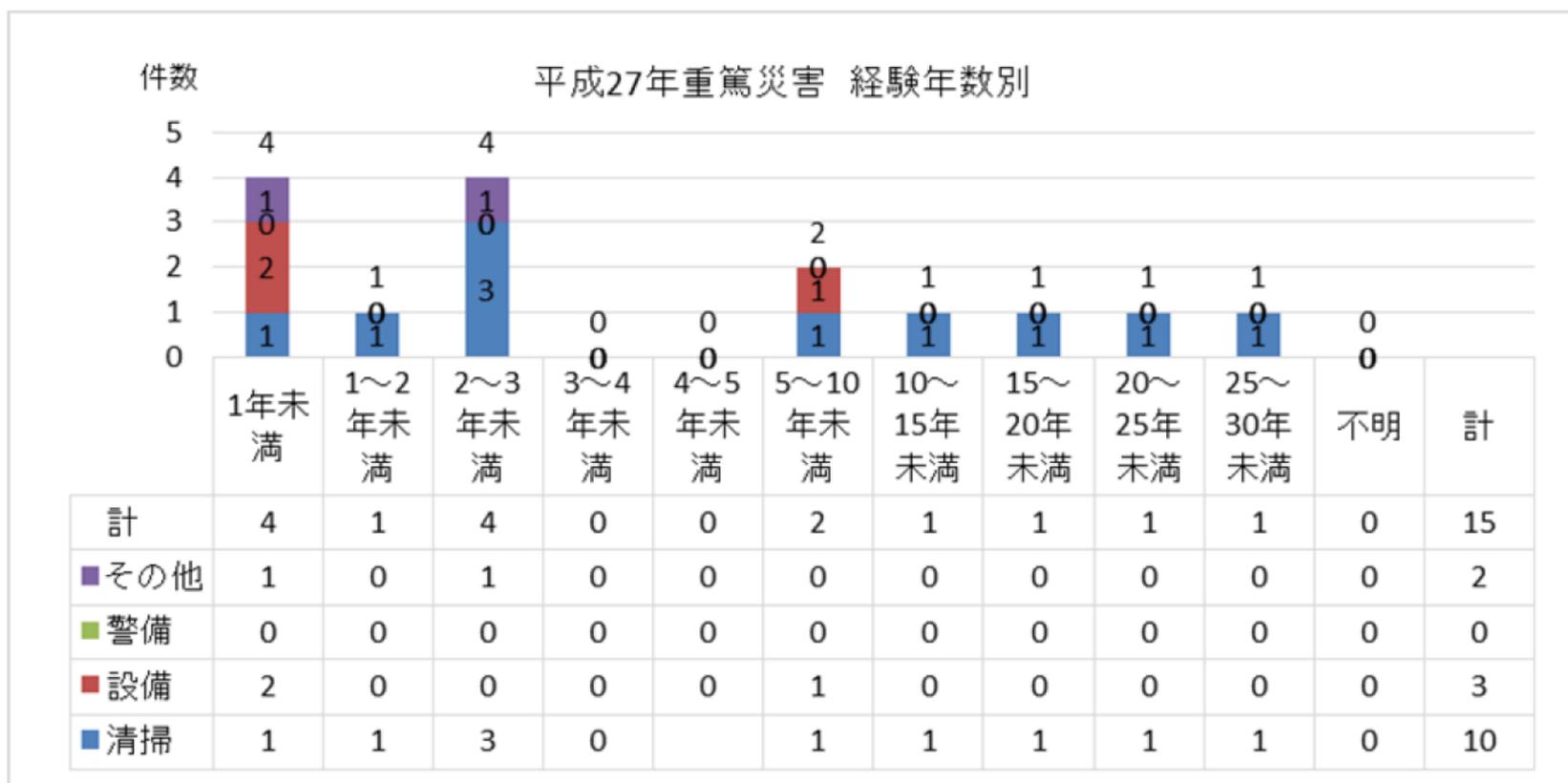


図28



# 平成27年重篤災害報告内容

表1

協会	災害区分	休業日数	災害発生年月日							災害発生場所			被災者情報					
			業務・通勤	91日・死亡	平成	月	日	曜日	時	分	県	市	具体的場所	性別	年齢	職種	経験年数	災害部位
熊本県	業務	91日以上	27	1	2	金	午後	18	30	熊本県		建物外周	男	57	設備	8年11ヶ月	右肩	じん帯損傷
	災害発生状況	洗濯作業を行う為、外に出たときに路面が積雪凍結しているのに気付かず転倒																
	考えられる原因	当日はかなり冷え込んでおり、路面の凍結の確認を怠った為																
	再発防止対策	積雪及び路面凍結時には、融解措置をおこない歩行の際は十分注意する																
三重県	通勤	死亡	27	1	15	木	午前	6	25	三重県	松坂市	路上	女	65	清掃	0年4ヶ月	全身	外傷性ショック
	災害発生状況	自宅より通常の経路を原付バイクで出勤途中、道路左側のコンクリートの縁石に衝突・転倒																
	考えられる原因	道路は直線であるが、1. 早朝で暗周2. 雨の中 であつたため運転をあやまったものと思われる。																
	再発防止対策	雨天時で暗闇での運転は、時間のゆとりと速度を落とした運転するように指導する。																
宮崎県	業務	91日以上	27	2	16	月	午前	8	55	宮崎県	宮崎市	コインパーキング駐車場	女	71	清掃	1年1ヶ月	肋骨・鎖骨・骨盤・甲骨	骨折、外傷性血気胸
	災害発生状況	駐車場のゴミ取りをしていたところ、同店を利用し帰る為、車を発進させたお客様に衝突された。																
	考えられる原因	お客様の前方未確認																
	再発防止対策	車の出入りがある場所での作業では、今回のように想定されないような事故が起こる可能性があることがわかったので、作業中であっても 周りの状況を見ながら作業する。また、そのような事故が起こる中の周知 安全教育をし、安全作業について各自認識させる。																
福島県	通勤	91日以上	27	2	1	日	午前	9	30	宮城県	角田市	路上	女	70	清掃	18年6ヶ月	右手首	骨折
	災害発生状況	勤務先から徒歩で帰宅途中、路面が凍っていたために滑って転んだ。																
	考えられる原因	凍結していることに気付かなかった。																
	再発防止対策	常に路面を確認しながら通行する。																
鳥取県	通勤	死亡	27	2	7	土	午前	6	30	鳥取県	米子市	交差点内横断歩道	女	60	清掃	14年4ヶ月	頭部・胸	頭蓋骨及び肋骨骨折
	災害発生状況	通勤途中、自転車にて横断歩道を横断中左折車両(軽自動車)に跳ねられる。																
	考えられる原因	軽自動車運転手の不注意																
	再発防止対策																	
広島県	通勤	91日以上	27	4	2	木	午前	7	30	広島県	廿日市市	交差点	男	36	その他	2年6ヶ月	胸腰椎体、顔面、左尺骨、肋骨、両肩等	骨折
	災害発生状況	バイクで通勤途中、交差点を直進していた時、対向車線より右折してきた相手車両と接触して転倒し負傷した。																
	考えられる原因	当方のスピードが少し出ていることと、相手がよく確認せずに右折してきたこと。																
	再発防止対策	交差点ではスピードを落とし、対向車等周りをよく注意して運転するように心がける。																
福岡県	通勤	死亡	27	4	3	金	午前	7	00	福岡県	福岡市	交差点	男	59	設備	0年11ヶ月	頭部	死亡
	災害発生状況	雨天の中をバイクで通勤中、交差点に進入したところ、右側から赤信号を無視した車両と衝突(脳挫傷により死亡)。																
	考えられる原因	相手車両の信号無視。																
	再発防止対策	自転車を含む、二輪車での通勤禁止。																
福島県	業務	91日以上	27	4	28	火		10	00	福島県	福島市		女	67	清掃	2年7ヶ月	腰	骨折
	災害発生状況	ベトからシートを剥がし、回収作業中にシートが足に引っかかり転倒し腰を骨折した。																
	考えられる原因	注意不足																
	再発防止対策	労働安全の教育訓練を実施																
沖縄県	業務	91日以上	27	5	14	木	午前	10	40	沖縄県		エレベーターホール	女	79	清掃	21年9ヶ月	左足付根付近	左大腿骨折
	災害発生状況	エレベーター前ホール歩行中、床にあった段ボールを踏んでしまった。その際、段ボールが床面を滑った為反動で左側へ転倒した。左足に痛みはあったが我慢して定時(13時)迄作業を続けた。夕方頃から痛みが増した為、翌日病院を受診。左足付け根部分の骨折と診断された。																
	考えられる原因	・危機意識不足 足元にある危険物を回避できなかった。(危険と認識できなかった) ・身体能力の低下																
	再発防止対策	・足場の確保について再確認(段ボール等滑りやすいものを踏まない) ・危機意識を高める為にヒヤリ・ハット運動の継続・改善活動の実施																
静岡県	業務	91日以上	27	4	10	木	午後	11	21	静岡県	静岡市	機械室・駐車場	男	61	設備	年7ヶ月	両腕・腰・脇	骨折、打撲
	災害発生状況	建物内月1度の消火器目視点検のため、2階の電気室に向かった。消火器の目視点検を終え間違えてマシンハッチ(解放厳禁)扉を鍵で開け、1F駐車場出入り口付近に落下した。通行人が、発見し電話通報で 救急車を呼んだ。																
	考えられる原因	消火器の目視点検を終了し戻る際、扉を間違えてしまい、2階から1階に転落してしまった。扉は施錠されており、解放厳禁の小さな表示があった。本人が、うっかり間違えて鍵を開けて、落下してしまったと考えられる。																
	再発防止対策	①マシンハッチ扉内側にチェーンで固定し、施錠強化する。②従業員に、開閉厳禁の所は絶対開けてはならない事を徹底させる。③館内の危険箇所を調べ、危険箇所があったら改善する。																
熊本県	業務	91日以上	27	5	21	木	午後	3	30	熊本県		ビル内	男	65	清掃	7年11ヶ月	左腕 右肘	骨折
	災害発生状況	道具を持ち階段を移動中に体制を崩し転倒																
	考えられる原因	両手に道具を持っていた為																
	再発防止対策	階段移動時は、両手に道具を持たない																
北海道	業務	死亡	27	5	31	日	午前	9	55	北海道	札幌市	オフィスビル	男	41	清掃	2年7ヶ月	右側頭部、右肩、右膝等	脳内出血
	災害発生状況	発生日9:00から3名で2階建オフィスビルの床及びガラスの清掃に従事し、被災者は外のガラスを担当し、2連梯子を使用し2階ガラスを清掃中、誤って4-5m付近から落下し、右側頭部、右肩等をアスファルトに打ちつけ救急車で市内病院に搬送され頭部に緊急手術を受ける。																
	考えられる原因	2m以上の2連梯子での作業を1名で作業した。ヘルメットは着用していたが墜落用ではなかった。																
	再発防止対策																	
愛知県	業務	91日以上	27	7	24	金	午後	7	30	愛知県	豊川市	工場内	男	21	その他	年9ヶ月	頸椎	頸椎脱臼
	災害発生状況	設備機器の異常を確認しようとして作業不良個別を確認しようとして被災者が確認している際にワイヤーが被災者のヘルメットに引っかかり頸椎に頭部が引っ張られ頸椎を損傷したと思われる。																
	考えられる原因	設備責任者が待つように指示したが確認に一人で行ってしまった。設備上の問題																
	再発防止対策	指示命令の行動基準の徹底。設備の改修																
福島県	業務	91日以上	27	7	3	金	午後	5	00	福島県	郡山市	商業施設	女	27	清掃	3年6ヶ月	右手甲部	右中指節骨折
	災害発生状況	清掃作業中、天井スライド式パーテーションを収縮して壁際に移動させていた所、パーテーションとパーテーションの間に右手を挟み受傷した。																
	考えられる原因	接触動線上に身体部を残したため、日常業務を繰り返す内、業務に慣れが生じた。接触すれば大けがに繋がる危険箇所を見逃していた。																
	再発防止対策	安全教育を実施し、作業従事者を限定する。危険作業時は安全作業監督者を配置する。間仕切り移動速度を低速化し前後の安全確保をする。																
北海道	業務	91日以上	27	10	8	木	午前	11	40	北海道	函館市	温泉ホテル	女	77	清掃	26年	左肢 大腿骨	骨折
	災害発生状況	温泉浴室入り口付近の目隠し壁上部を藤製丸イスに上がって、拭き掃除を行っていたところ、丸イスがガタガタし横転、その弾みで床面に落下した。																
	考えられる原因	不用意に丸イスを踏み台に使ったことによる。																
	再発防止対策	安易にイスを踏み台代わりに使用しない。踏み台を使用せずに掃除するように指導した。																